

Canon

PowerShot N

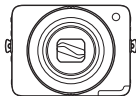
カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。
- CD-ROM 内の電子マニュアル（PDF 形式）もあわせてご覧ください（📖31）。

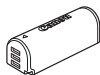
日本語

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありませんでしたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



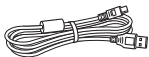
カメラ



バッテリーパック
NB-9L



コンパクトパワーアダプター
CA-DC30



インターフェースケーブル
IFC-400PCU



リストストラップ
WS-800



DIGITAL CAMERA
Solution Disk *
(CD-ROM)



使用説明書
(本書)



保証書



サポートガイド

* ソフトウェアと電子マニュアルが入っています (📖31)。

• メモリーカードは付属されていません (📖2)。

使えるカード (市販品) について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- microSD (マイクロエスディー) メモリーカード*
- microSDHC (マイクロエスディーエイチシー) メモリーカード*
- microSDXC (マイクロエスディーエックスシー) メモリーカード*

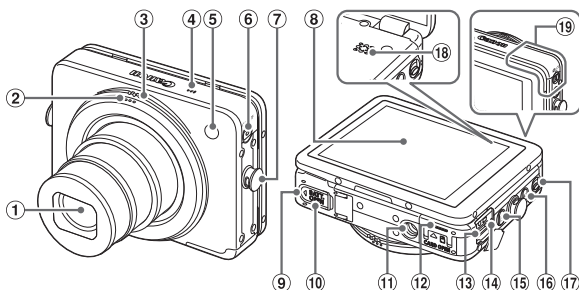


* SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたまになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

各部のなまえと記載について



- ① レンズ
- ② シャッターリング
- ③ ズームリング
- ④ マイク
- ⑤ ストロボ／ランプ（前面）
- ⑥ 電源ボタン／電源ランプ
- ⑦ ストラップ取り付け部
- ⑧ 画面（液晶モニター）
- ⑨ バッテリー収納部ふた
- ⑩ DC カプラー端子カバー

- ⑪ 三脚ねじ穴
- ⑫ カード収納部ふた
- ⑬ DIGITAL（デジタル）端子
- ⑭ USB 充電ランプ
- ⑮ ◀▶（再生）> ボタン
- ⑯ <☞（ワンタッチスマホ）> ボタン
- ⑰ モードスイッチ
- ⑱ スピーカー
- ⑲ Wi-Fi 通信部

- カメラのボタンは、ボタンに表記されている絵文字を使って示しています。
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ①：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの上にあるタブは、その機能が静止画や動画で使えるかどうかを示しています。

静止画

： 静止画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

動画

： 動画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

カメラと付属品の確認	2
使えるカード（市販品）に ついて	2
お使いになる前に お読みください.....	3
各部のなまえと記載について	4
目次	6
やりたいこと目次	8
安全上のご注意	10

基本編 15

画面をタッチして操作する	16
準備する	17
試してみる	25
ソフトウェアと 電子マニュアルを使う	31
システムマップ	38

活用編 39

1 カメラを知る 39

電源の入れかた／切りかた	40
シャッターリングの押しかた	41
カメラの構えかた	42
撮影時の画面表示の 切り換えかた	43
ランプの表示	43
FUNC.（ファンクション）の 表示と操作方法	44
MENU（メニュー）の表示と 操作方法	45

2 クリエイティブショット モード 47

撮る （クリエイティブショット）	48
見る	49

3 オートモード / プラスムービー オートモード 51

カメラまかせで撮る	52
よく使う機能や便利な機能を使 う	62
個人認証機能を使って撮る	68
自分好みの画像を撮るための 機能を使う	77
撮影の手助けとなる機能を使 う	80
自分好みに機能を変える	81

4 いろいろな撮影モード 85

効果をつけて撮る	86
ハイスピード動画を撮る	93

5 Pモード 95

プログラム AE で撮る （[P] モード）	96
明るさ（露出）に関する機能を使 う	97
色あいを調整する （ホワイトバランス）	99
連続して撮る	100
ストロボを発光させる	101
手ブレ補正の設定を変える	102

6 再生モード	103	8 設定メニュー	173
見る.....	104	カメラの基本機能を変える.....	174
画像を探したり、特定の 画像だけを見る.....	110	9 アクセサリー	183
個人認証情報を編集する.....	113	別売アクセサリー.....	184
いろいろな方法で画像を 見る.....	114	別売アクセサリーの 使いかた.....	186
消す.....	116	印刷する.....	189
回転する.....	119	10 付録	195
お気に入り設定をする.....	121	故障かな？と思ったら.....	196
タッチアクションでかんたんに 操作する.....	123	画面に表示されるメッセージ 一覧.....	202
静止画を編集する.....	125	画面の表示内容一覧.....	206
動画を編集する.....	127	機能／メニュー一覧.....	210
7 Wi-Fi 機能	131	日ごろの取り扱いについて.....	214
Wi-Fi を使ってできること.....	132	主な仕様.....	215
Wi-Fi を使ってカメラから 画像を送信するまで.....	133	索引.....	219
Wi-Fi（無線 LAN）について..	134		
セキュリティについて.....	136		
用語の説明.....	137		
スマートフォンとつながる.....	138		
Wi-Fi メニューを表示する.....	143		
Web サービスとつながる.....	145		
別のカメラとつながる.....	150		
パソコンとつながる.....	151		
プリンターとつながる.....	160		
画像を送る.....	162		
CANON iMAGE GATEWAY 経由で画像をパソコンに送る	166		
カメラ内の画像に GPS 情報を 記録する.....	167		
Wi-Fi の設定を編集 / 消去する	168		

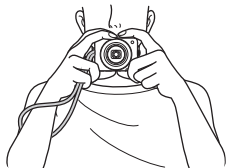
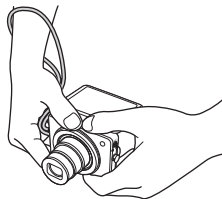
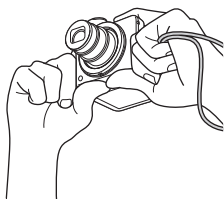
やりたいこと目次

📷 撮 る

- カメラまかせで多彩な写真を撮りたい（クリエイティブショット） 48



- いろいろなアングルで写真を撮りたい 42



- 効果をつけて撮りたい



魚眼レンズのように
(87)



ミニチュア模型のように
(88)



トイカメラ風に
(90)



柔らかな雰囲気
(91)



モノクロで
(92)

- カメラまかせで撮りたい
(オートモード、プラスムービーオートモード) 52、55
- シーンにあわせて機能を変えたい



ストロボ禁止の場所で
(67)



セルフタイマーで
(63)



個人認証機能を使って
(68)

▶ 見る

- 画像を見たい 104
- 画像を素早く探したい 110
- 画像を消したい 116
- Wi-Fi 機能で画像を共有したい 162



安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを人の目に近づけて発光しない。

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1 m 以上離れてください。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 水や海水などの液体で濡らさない。
- 内部に液体や異物などを入れない。

感電、火災の原因となります。

万が一、液体や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、その後必ずバッテリーを取り出してください。

コンパクトパワーアダプターが液体で濡れたときは、コンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。

- 指定外のバッテリーは使わない。
- バッテリーは火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。

- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。

バッテリーが破裂や液漏れし、けがや周囲を汚す原因となったり、火災、感電の原因となることがあります。万が一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。

カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

- 付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。

音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使ったときは、スピーカーなどの破損の原因となります。

**注意**

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。
- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。

けがやカメラの故障の原因となることがあります。

- 液晶モニターに強い衝撃を与えない。

液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。

- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。

やけどや故障の原因となることがあります。

- 次の場所で使用・保管しない。

- 直射日光のあたるところ
- 40℃を超える高温になるところ
- 湿気やホコリの多いところ

バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

カメラやコンパクトパワーアダプターが熱により変形することがあります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けない。

撮像素子が損傷することがあります。

- 砂浜や風の強い場所で使うときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。

故障の原因となることがあります。

- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、カメラからバッテリーを取り出して保管する。

カメラにバッテリーを入れたままにしておくと、液漏れにより故障の原因となることがあります。

- バッテリーを廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- コンパクトパワーアダプターは、使用しないときや充電が終わったときは、コンセントから外す。

- 布などをかけたまま充電しない。

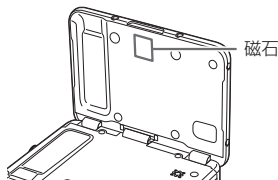
長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 液晶モニターにクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけない。

液晶モニターの裏には磁石が取り付けられているため、データを損なうおそれがあります。



-
- ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。

液晶モニターの破損の原因となります。

-
- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。
 - ストラップにアクセサリをつけない。

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。



基本編

準備から、撮影、再生、パソコンへ取り込むまでの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

画面をタッチして操作する

このカメラの画面はタッチパネルになっているため、指で画面をタッチ（触れて）して直感的に操作できます。

タッチ



画面を指で押して離す

- いろいろな機能の設定や、撮影するときなどに使います。

ドラッグ



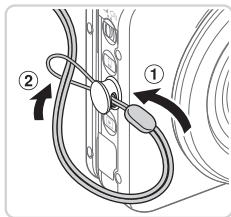
指を画面に触れたまま移動する

- 再生モードで、次の画像に表示を切り換えるときや、拡大表示する範囲を変えるときなどに使います。

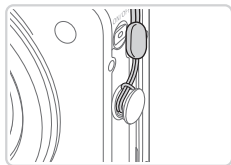
準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける



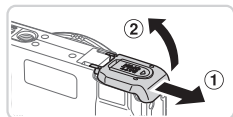
- ①ストラップの先端を取り付け部に通して、②通した先端にストラップを通します。



- ストラップは左手側に取り付けることもできます。

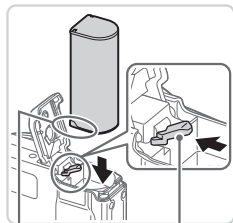
バッテリーを入れて充電する

付属のバッテリーをカメラに入れて充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていないので、必ず充電してからお使いください。



1 ふたを開ける

- ①の方向にふたを動かして、②の方向へふたを開けます。



端子部

バッテリー
ロック

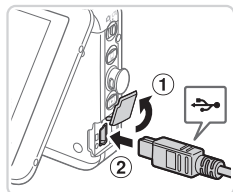
2 バッテリーを入れる

- バッテリーを図の向きにして、バッテリーロックを矢印の方向へ動かし、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。



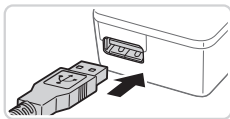
3 ふたを閉める

- ふたを①の方向にたおして押さえたまま、②の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。

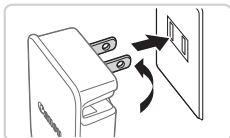


4 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (①)、付属のインターフェースケーブル (書2) の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (②)。

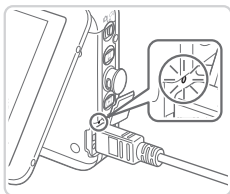


- インターフェースケーブルの大きい方のプラグを付属のコンパクトパワーアダプターに差し込みます。



5 充電する

- プラグをおこしてコンセントに差し込みます。



- ▶ 充電がはじまり、USB 充電ランプが点灯します。
- ▶ 充電が完了すると、ランプは消灯します。
- コンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、カメラからインターフェースケーブルを外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。



- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(P215)を参照してください。
- 充電中でもカメラの電源を入れると、充電しながら、再生モードで画像を見ることができます (P104)。ただし、撮影はできません。また、バッテリーを入れていないとカメラは使えません。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- コンパクトパワーアダプターは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

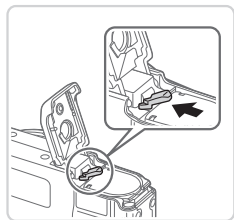
■ パソコンを使って充電する

「バッテリーを入れて充電する」の手順 4 (📖 18) で、インターフェースケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子につないで充電することもできます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



- パソコンによってはカードを入れていないと充電できないことがあります。カメラにカードを入れてから (📖 21)、パソコンの USB 端子につないでください。

■ バッテリーを取り出す

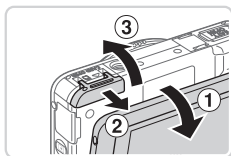


- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- ▶ バッテリーが出てきます。

カードを入れる

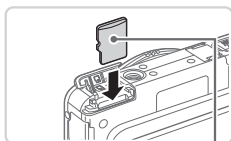
カード（市販品）をカメラに入れます。

なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（ 178）することをおすすめします。



1 ふたを開ける

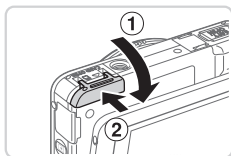
- モニターを開いたあと（①）、②の方向にふたを動かして、③の方向へ開けます。



ラベル面

2 カードを入れる

- カードを図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



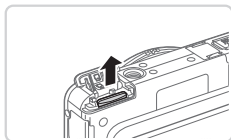
3 ふたを閉める

- ふたを①の方向へたおして押さえたまま、②の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



- 1枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「1枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）」（ 216）を参照してください。

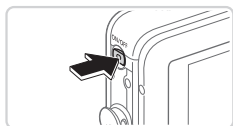
カードを取り出す



- ふたを開け、「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を離します。
- ▶ カードが出てきます。

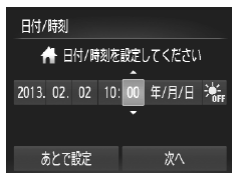
日付／時刻を設定する

電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶ 「日付／時刻」画面が表示されます。



2 日付／時刻を設定する

- 設定する項目をタッチしたあと、[▲] か [▼] をタッチして設定します。
- [次へ] をタッチします。



3 自宅のエリアを設定する

- [◀] か [▶] をタッチして自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- [設定完了] をタッチすると、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。



- 日付／時刻を設定しないと、電源を入れるたびに「日付／時刻」画面が表示されます。正しく設定してください。



- 手順2で「」をタッチして「」にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。

■ 日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



1 メニューを表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと、[MENU] をタッチします。

2 [日付／時刻] を選ぶ

- [YT] タブをタッチします。
- 画面を上下方向にドラッグして [日付／時刻] を選びます。
- [日付／時刻] をタッチします。

3 日付／時刻を変える

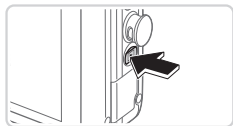
- 「日付／時刻を設定する」の手順 2 (書 22) の操作で設定します。
- [戻る] を 2 回タッチすると、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約 3 週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、バッテリーを充電するか、AC アダプターキット（別売）（書 184）を使うと、カメラの電源を入れなくても約 4 時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付／時刻] 画面が表示されます。書 22 の手順で正しく設定してください。

表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。



1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。



2 設定画面を表示する

- 設定画面が表示されるまで [MENU] をタッチしたままにします。



3 言語を設定する

- 表示したい言語をタッチして選び、もう一度選んだ言語をタッチします。
- ▶ 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- カード内に画像があるときは、画面左下の [FUNC.] をタッチして、[MENU] を表示します。



- 言語設定は、[FUNC.]、[MENU] の順にタッチすると表示されるメニュー画面で、[言語] タブの [言語] を選んで設定することもできます。

使ってみる

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動画面が表示されます。



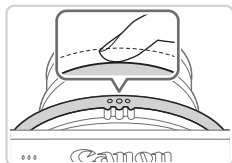
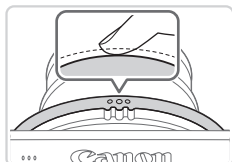
2 [AUTO] モードにする

- モードスイッチを [カメラアイコン] にします。



- [AUTO] をタッチし、[◀] か [▶] をタッチしたり、画面を左右方向に素早くドラッグして、[AUTO] をタッチします。
- [OK] をタッチして決定します。





- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- ▶ 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- ▶ 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。

3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームリングを①の方向に回すと撮りたいものが大きくなり、②の方向に回すと小さくなります。

4 撮影する 静止画を撮る

①ピントを合わせる

- シャッターリングを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。

②撮影する

- シャッターリングを深く押し込みます。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- ▶ 撮影した画像は、次の撮影ができるようになるまでの間だけ表示されます。



撮影時間



動画を撮る

①撮影をはじめる

- [●] をタッチすると、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影が始まり、[●録画]と撮影時間が表示されます。
- ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- ▶ 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- ▶ 暗いところでは自動的にストロボが光り、画面に [💡] が表示されます。

②撮影を終える

- [■] をタッチすると、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。



- 手順2でモードスイッチを [📷] にすると、1回の撮影で多彩な静止画を撮影することができます（クリエイティブショットモード）（📖47）。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



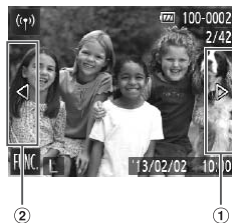
1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- 画面を左方向にドラッグすると次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。
- 画面右端（左の画面の①の枠内）をタッチすると、[▶] が表示され、次の画像が表示されます。画面左端（左の画面の②の枠内）をタッチすると、[◀] が表示され、前の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] をタッチしたままにすると、画像が速く切り換わります。
- 動画では、[▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。





音量

3 動画を再生する

- [▶] をタッチすると再生がはじまります。
- 音量は、再生中に画面を上下方向に素早くドラッグして調節します。
- ▶ 再生が終わると [▶] が表示されます。



- レンズが出ているときは再生モードの状態です。シャッターリングを半押しすると撮影モードになります（充電時（[18](#)）を除く）。

■ 消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。



2 消す

- [FUNC.] をタッチしたあと、画面を上下方向にドラッグして [𠂆] を選び、タッチします。



- [消去しますか?] が表示されたら、[消去] をタッチします。
- ▶ 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[キャンセル] をタッチします。



- タッチアクションで消すこともできます (📖 123)。
- 画像をまとめて消すこともできます (📖 117)。

ソフトウェアと電子マニュアルを使う

ここでは、付属の DIGITAL CAMERA Solution Disk (CD-ROM) (図2) に入っているソフトウェアや電子マニュアルの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

付属の CD 内のソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

CameraWindow (カメラウィンドウ)

- 画像の取り込みやカメラの各種設定

ImageBrowser EX (イメージブラウザー イーエックス)

- 画像の閲覧をはじめ、検索や整理などの画像管理
- 画像の印刷や各種の編集

オートアップデート機能について

付属のソフトウェアは、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などをインターネットを使って行います (一部のソフトウェアは除く)。そのため、インターネットにつながるパソコンへインストールしてお使いください。



- この機能をお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

電子マニュアルについて

ソフトウェアの使用説明書

- 付属のソフトウェアを使うときに参照してください。各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます (一部のソフトウェアは除く)。

パソコンに必要なシステム構成

付属のソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下の通りです。また、電子マニュアルをご覧になるには、別途 Adobe Reader が必要です。

	Windows	Macintosh
OS * 1	Windows 8 Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 Windows XP SP3	Mac OS X v10.6 Mac OS X v10.7 Mac OS X v10.8 * 2
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていることと、インターネットに接続できること	
CPU	静止画 1.6 GHz 以上 動画 Core 2 Duo 2.6 GHz 以上	静止画 Mac OS X v10.7 - v10.8 : Core 2 Duo 以上、 Mac OS X v10.6 : Core Duo 1.83 GHz 以上 動画 Core 2 Duo 2.6 GHz 以上
RAM	静止画 Windows 8 (64bit)、 Windows 7 (64bit): 2 GB 以上、 Windows 8 (32bit)、 Windows 7 (32bit)、 Windows Vista : 1 GB 以上、 Windows XP : 512 MB 以上 動画 2 GB 以上	静止画 Mac OS X v10.7 - v10.8 : 2 GB 以上、 Mac OS X v10.6 : 1 GB 以上 動画 2 GB 以上
インターフェース	USB および Wi-Fi	
ハードディスク 空き容量	440 MB 以上 * 3	550 MB 以上 * 3
ディスプレイ	1,024 x 768 ドット以上	

* 1 Wi-Fi 接続を使ってパソコンに画像を送れるのは、Windows 8、Windows 7 SP1、Mac OS X v10.6.8、Mac OS X v10.7、Mac OS X v10.8.2 以降のみです。

* 2 Apple 社の Web サイトで公開されている Mac OS X v10.8 の対応モデルをあわせてご確認ください。

* 3 Silverlight 5.1 (最大 100 MB) を含みます。また、Windows XP では Microsoft .NET Framework 3.0 (最大 500 MB) 以上のインストールが必要です。そのためお使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。



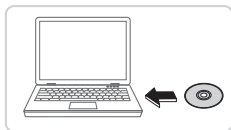
- 最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトをご確認ください。

インストールする

ここでは、Windows 7 と Mac OS X v10.6 を使って説明をしています。なお、ソフトウェアはオートアップデート機能により、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などが行われます（一部のソフトウェアは除く）ので、インターネットにつながるパソコンへインストールしてください。

用意するもの

- パソコン
- インターフェースケーブル (冊2)
- 付属の CD-ROM (DIGITAL CAMERA Solution Disk) (冊2)



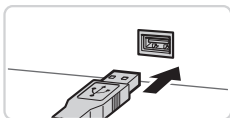
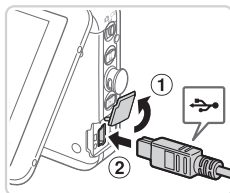
1 CD をパソコンのドライブに入れる

- 付属の CD (DIGITAL CAMERA Solution Disk) (冊2) をパソコンのドライブに入れます。
- Macintosh では、CD を入れるとデスクトップ上に表示される CD アイコンをダブルクリックして開き、表示される [] をダブルクリックします。

2 インストールをはじめる

- [おまかせインストール] をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。





3 カメラの接続をうながすメッセージが表示されたらカメラをパソコンとつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (①)、付属のインターフェースケーブル (②) の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (②)。

- インターフェースケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。

4 インストールする

- カメラの電源を入れて、表示される画面にしたがって必要な操作をおこない、インストールを進めます。
- ▶ 最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などを行うためインターネットへつながります。そのため、お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面の [完了] または [再起動] をクリックして、デスクトップ画面が表示されたら CD を取り出します。
- カメラの電源を切ってからケーブルを抜きます。



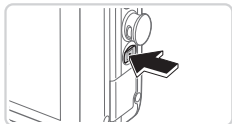
- インターネットに接続していないときは、次のような制限事項があります。
 - 手順 3 の画面は表示されません。
 - 一部の機能がインストールされないことがあります。
- はじめてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- 付属の CD に ImageBrowser EX が入っているカメラを複数お持ちのときは、それぞれのカメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加するため、それぞれの CD とカメラを使い、表示される画面にしたがってインストールしてください。

画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windows 7 と Mac OS X v10.6 を使って説明をしています。

1 カメラとパソコンをつなぐ

- 「インストールする」の手順 3 (34) の操作でカメラとパソコンをつなぎます。



2 電源を入れて CameraWindow (カメラウィンドウ) を表示する

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- Macintosh では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。
- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で、[] のプログラムを変えるためのリンクをクリックします。
- [画像をキャノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。



- [] をダブルクリックします。



CameraWindow



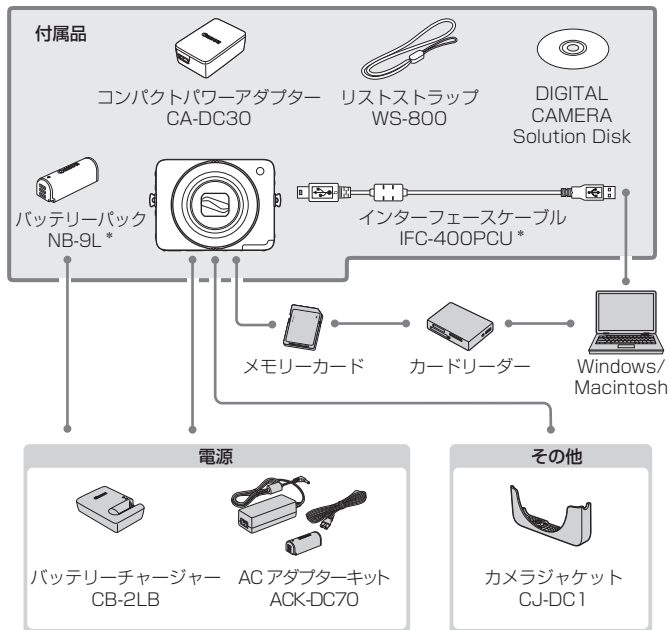
3 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- ▶ 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの電源ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンで画像を見る操作は、「ソフトウェアの使用説明書」(31) を参照してください。



- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの [] をクリックします。
- Windows Vista または Windows XP をお使いのときは、手順 2 でカメラの電源を入るとパソコンに表示される画面で [画像をキャノンカメラからダウンロードします] をクリックして、CameraWindow を表示します。この操作で画面が表示されないときは、[スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [CameraWindow] を選びます。
- Macintosh で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。
 - 動画編集など、ソフトウェアの機能が一部使えなくなることがあります。

システムマップ



*別売りも用意されています。

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

カメラを知る

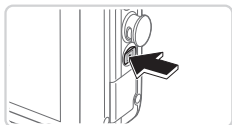
カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- <▶> ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- 電源が入っているときは、<▶> ボタンを押すたびに、再生モード、撮影モードが切り替わります。



- レンズが出ているときは再生モードの状態でシャッターリングを半押し（ 41）すると、撮影モードになります（充電時（ 18）を除く）。
- 再生モードでは、約 1 分経過するとレンズが収納されます。

節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

撮影モードでの節電機能

約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 2 分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターリングを半押し（ 41）すると画面が表示され、撮影できます。

再生モードでの節電機能

約 5 分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

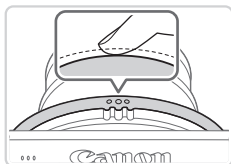


- インターフェースケーブルでパソコンとつないでいるとき（ 36）、Wi-Fi でほかの機器と接続しているとき（ 131）は、節電機能は働きません。

シャッターリングの押しかた

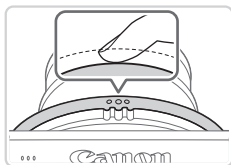
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターリングを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターリングの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



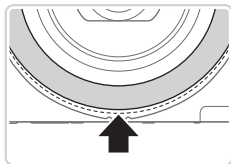
1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

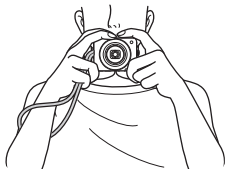
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。
- シャッターリングを下から、半押し、全押しすることもできます。



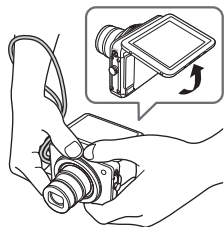
- シャッターリングを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

カメラの構えかた

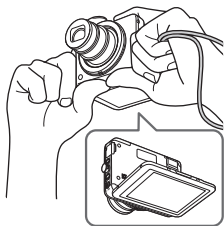
撮影シーンや目的に応じて、楽な姿勢でいろいろなアングルから撮影することができます。



- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないように両手でしっかりと構え、ストロボに指がかからないようにしてください。



- 液晶モニターは見やすい角度にできます。
- シャッターリングは下から押すこともできます。撮りたい被写体や構図にあわせて、構えかたを変えても、楽な姿勢で撮影できます。



- 撮影モードでカメラを上下逆さまにすると、画面が上下反転して見やすい向きで表示されます。撮影される画像も上下反転されます。



- カメラを使わないときは、閉じた状態で保管してください。
- 液晶モニターは、約 90° まで開きます。故障の原因となるため無理に広げないでください。



- 上下反転した画像を回転することもできます(画質が [F1920] [F1280] の動画を除く)(P119)。

撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、**[DISP.]** をタッチして切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「画面の表示内容一覧」(P206) を参照してください。



情報表示あり



情報表示なし



- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります（ナイトビュー機能）。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(P106) を参照してください。

ランプの表示

ランプ (P4) は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

ランプ	色	状態	操作状態
電源ランプ	緑	点灯	パソコン接続時 (P36)、画面消灯時 (ディスプレイオフ) (P40、177)
		点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、Wi-Fi 接続中／データ送受信中
USB 充電ランプ	オレンジ	点灯	充電中
		点滅	充電エラー



- 電源ランプが緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード収納部やバッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

FUNC. (ファンクション) の表示と操作方法

よく使う機能は、FUNC. で設定できます。

なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード (210 ~ 211) や再生モード (213) によって変わります。



1 FUNC. のメニュー項目を表示する

- [FUNC.] をタッチします。



2 メニュー項目を選ぶ

- メニュー項目を上下方向にドラッグするか、タッチして選びます。
- メニュー項目以外の場所を上下方向にドラッグすることでも選べます。
- 選んだメニュー項目をもう一度タッチするか、右側の項目をタッチします。



3 項目を選ぶ

- 項目を上下方向にドラッグするか、タッチして選びます。
- 項目以外の場所を上下方向にドラッグすることでも選べます。

4 設定を終える

- 選んだ項目をもう一度タッチするか、[↵] をタッチします。
- ▶ 手順 1 で [FUNC.] をタッチする前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (182)。
- 手順 2 の画面で、右側のメニューの項目をタッチすることでも項目を選べます。

MENU（メニュー）の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影 [📷] や再生 [▶] などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード（📖 210～213）によって変わります。



1 メニューを表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと、[MENU] をタッチします。



2 タブを選ぶ

- タブをタッチして選びます。





3 項目を選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグするか、項目をタッチして選びます。
- 内容が表示されていない項目では、項目をタッチして画面を切り換えたあと、さらに画面を上下方向にドラッグするか、項目をタッチして選びます。
- [↶] をタッチすると、切り換える前の画面に戻ります。



4 内容を選ぶ

- 内容の左右に [◀] と [▶] が表示される項目では、[◀] か [▶] をタッチします。
- バーが表示される項目では、バーの上で設定したい位置をタッチします。

5 設定を終える

- [↶] をタッチすると、手順 1 で [FUNC.] をタッチする前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (p.182)。
- 手順 2 でズームリングを動かしてタブを選ぶこともできます。

2

クリエイティブショットモード

カメラまかせで多彩な静止画を撮る

撮る（クリエイティブショット）

カメラが被写体や撮影状況を判別して、自動で効果をつけたり被写体を切り出して、1回の撮影で6枚の静止画を記録します。カメラまかせで多彩な静止画を撮ることができます。なお、ストロボは光りません。



1 【📷】モードにする

- モードスイッチを【📷】にします。

2 撮影する

- 「撮る（こだわりオート）」の手順3～4（📖26）の操作で撮影します。
- ▶3回シャッター音が鳴って撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- ▶6枚の画像が順番に表示されたあと、すべての画像が約2秒間表示されます。
- 画像の表示中に画面をタッチすると、【👉】が表示され、【👉】をタッチするまで画像が表示されるようになります。
- 画像を選んでタッチすると、その画像が画面いっぱいに表示されます。【👉】をタッチするともとの表示に戻ります。



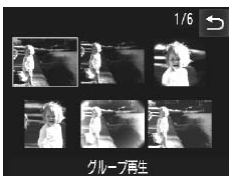
見る

[] モードでは、1回の撮影で撮れた6枚の画像が1つのグループにまとめられ（グループ化）、効果のかかっていない画像のみが表示されますが、グループ内の画像を1枚ずつ見ることもできます。



1 グループ化された画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして [] モードで撮影した画像を選び、タッチします。
- ▶ グループ内の画像が一覧で表示されます。



2 グループ内の画像を1枚ずつ見る

- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が1枚表示になります。
- 1枚表示で画面を左右方向にドラッグするとグループ内のほかの画像が表示されます。
- [] をタッチするとグループ再生が解除されます。



- グループ化された画像を消す（[117](#)）と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。



- 「撮る（クリエイティブショット）」の手順2（[48](#)）のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。
- グループ再生の状態でも1枚表示にすると、[FUNC.]のタッチで表示されるメニューの機能を使ったり、「拡大して見る」（[114](#)）こともできます。また、「まとめて消す」（[117](#)）、「フォトブック指定」（[192](#)）で「グループ内の全画像」を指定すると、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。

グループ化された画像について

- グループ化を解除して、1枚ずつの画像として表示したいときは、**[FUNC.]** をタッチしたあと **[MENU]** をタッチして、 タブの **[グループ表示]** を選び、**[切]** を選びます (📖45)。ただし、グループ化された画像を1枚ずつ見ているときは、グループ化を解除できません。
- 画像の検索 (📖111) で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて1枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、お気に入り設定 (📖121)、編集 (📖119～125)、印刷 (📖189)、フォトブック指定 (📖192) はできません。グループ化された画像を1枚表示にするか、グループ化を解除してから行ってください。

3

オートモード/プラスムービーオートモード

かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせて撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

静止画

動画

オートモードで撮る（こだわりオート）



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードスイッチを [カメラアイコン] にします。



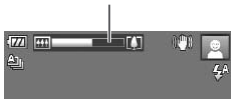
- [AUTO] をタッチし、[◀] か [▶] をタッチしたり、画面を左右方向に素早くドラッグして、[AUTO] をタッチします。
- [OK] をタッチして決定します。



- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- ▶ 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます（58、60）。
- ▶ 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。

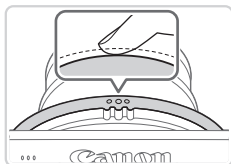


ズームバー



3 撮りたいものの大きさを決める

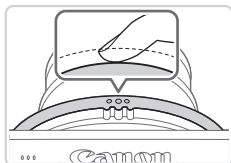
- ズームリングを①の方向に回すと撮りたいものが大きくなり、②の方向に回すと小さくなります（ズームの位置を示すズームバーが表示されます）。



4 撮影する 静止画を撮る

①ピントを合わせる

- シャッターリングを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。
- ▶ 複数の AF フレームが表示されたときは、表示されたすべての AF フレームにピントが合っています。

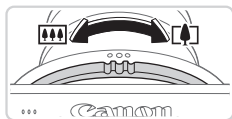


②撮影する

- シャッターリングを全押しします。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- ▶ 撮影した画像は、次の撮影ができるようになるまでの間だけ表示されます。



撮影時間



動画を撮る

①撮影をはじめる

- [●] をタッチすると、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影が始まり、[●録画]と撮影時間が表示されます。
- ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- ▶ 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- ▶ 暗いところでは自動的にストロボが光り、画面に [☀] が表示されます。

②撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3 (53) と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置はそのまま、明るさや色あいは自動的に調整されます。

③撮影を終える

- [■] をタッチすると、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

プラスムービーオートモードで撮る

静止画を撮影するだけで、撮影直前のシーンが動画として自動で記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 [A] モードにする

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順2（[152](#)）の操作で[A]を選びます。

2 撮影する

- 「撮る（こだわりオート）」の手順3～4（[126](#)）の操作で静止画を撮影します。
- 撮影直前の約2～4秒間のシーンがダイジェスト動画として自動的に記録されるため、静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。
- シャッターリングを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音（[174](#)）は鳴りません。



- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、[AUTO]モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れる、[A]モードを選ぶ、カメラを上下逆さまにするなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音が録音されます。



- 同じ日に記録されたダイジェスト動画は 1 つのファイルになりますが、1 回の撮影で作成されたダイジェスト動画は 1 つのチャプターになり、このチャプターを使って編集することもできます (P129)。
- 次のときは、同じ日に [静] モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 29 分 59 秒になったとき
 - サマータイムの設定 (P22) やエリア設定 (P175) を変えたとき

■ ダイジェスト動画の再生について

[静] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます (P108)。

■ 静止画



- [9] が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」(P217) を参照してください。
- シャッターリングを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と 1 回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲 (撮影範囲) は、「撮影距離」(P217) を参照してください。
- 暗いところでシャッターリングを半押しすると、ピント合わせのため、ランプ (前面) が点灯することがあります。
- 「寝顔」「赤ちゃん (寝顔)」のアイコン (P58) が表示されているときは、撮影時にシャッター音は鳴りません。

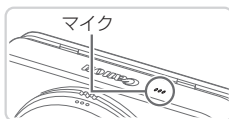


- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます (P82)。

動画



- 長時間の動画撮影を繰り返し行くと、カメラの温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。



- 動画撮影するときは、マイクをふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声は録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。
- 動画撮影中に画面のタッチ操作以外をすると、操作音が録音されるので、注意してください。



- 音声はモノラルで録音されます。

シーンのアイコン

[AUTO] [A] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。また、シーンによっては連続撮影します (P.59)。

被写体 \ 背景	通常	逆光	暗い*	夕景	スポットライト
人				—	
動いているとき			—	—	—
顔の一部が暗いとき		—	—	—	—
笑顔			—	—	—
寝顔			—	—	—
赤ちゃん			—	—	—
笑顔			—	—	—
寝顔			—	—	—
こども (動いているとき)			—	—	—
人以外					
動いているとき			—	—	—
近いとき			—	—	

* 三脚使用時

アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、背景が暗いときは紺色、その他のときは灰色になります。

アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、その他のときは灰色になります。

- の背景は紺色、 の背景はオレンジ色です。
- 動画撮影中、「人」「人以外」「近いとき」以外のアイコンは表示されません。
- [A] モードで撮影中は、「人」「顔の一部が暗いとき」「人以外」「近いとき」以外のアイコンは表示されません。
- セルフタイマー撮影時、「人 - 動いているとき」「笑顔」「寝顔」「赤ちゃん - 笑顔」「赤ちゃん - 寝顔」「こども」「人以外 - 動いているとき」のアイコンは、表示されません。

- ドライブモードを [□] に設定しているとき (p100) は、「笑顔」「寝顔」「赤ちゃん-笑顔」「赤ちゃん-寝顔」「こども」のアイコンは、表示されません。
- ストロボを [A] に設定しているとき、逆光での「笑顔」「こども」は表示されません。
- 「赤ちゃん」「赤ちゃん(笑顔)」「赤ちゃん(寝顔)」「こども」のアイコンは、[個人認証] を [入] にして、登録されている赤ちゃん (2歳未満)、こども (2歳以上12歳以下) の顔が検出されたときに表示されます (p68)。なお、あらかじめ日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください (p22)。



- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、[P] モード (p95) で撮影することをおすすめします。

■ 連続撮影されるシーン

次のシーンのアイコンが表示されているときに静止画を撮影すると、連続撮影されます。次のシーンのアイコンが表示されているときにシャッターリングを半押しすると、連続撮影することを知らせる [📷] [📷] [📷] のいずれかが表示されます。

笑顔 (赤ちゃんを含む)	📷: 連続撮影した画像の中から、顔の表情などを検出して、カメラが最適と判断した1枚だけを保存します。
寝顔 (赤ちゃんを含む)	📷: 連続撮影した画像を合成することで、手ブレやノイズを軽減して寝顔をきれいに撮影できます。 AF補助光、ストロボは光りません。また、シャッター音は鳴りません。
こども	📷: 動き回るこどもでもシャッターチャンスを逃さずに撮影できるように、1回の撮影で3枚の画像を連続撮影して保存します。



- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- ピント、明るさ、色合いは、1枚目の撮影で固定されます。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [A] を選んだあと [□] を選ぶと、連続撮影されなくなります。

手ブレ補正アイコン

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定(マルチシーン IS)されます。また、**[AUTO]**  モードでは以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正		動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正(ダイナミック IS)
	静止画を流し撮りで撮るときの手ブレを補正*		動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正(パワード IS)
	マクロ撮影するときの手ブレを補正(ハイブリッド IS)		三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正が不要なため停止

* 動く被写体をカメラで追いながら撮影(流し撮り)するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



- [手ブレ補正] を [切] に設定 (📖 102) すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
-  モードでは  にはなりません。

画面に表示される枠

[**AUTO**] モードでは、カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

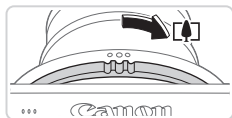
- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。
ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターリングを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、[**P**] モード (P.95) で撮影することをおすすめします。
- ピントを合わせたい被写体を選びたいときは、画面上の被写体にタッチして [AF] を表示します（タッチ AF） (P.66)。シャッターリングを半押しすると、青色の AF フレームが表示され、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。
- 動画の撮影中は、タッチ AF はできません。

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 32 倍まで拡大できます。



1 ズームリングを回す

- ズームできるところまでリングを矢印の方向に回したままにします。
- ▶ 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

2 もう一度同じ方向に回す

- ▶ さらにズームして、被写体が拡大されます。



- ズームリングを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
 - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- また、設定した記録画素数（ 78）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。



- 光学ズームとデジタルズームをあわせた焦点距離は以下のとおりです（35mm フィルム換算）。
28 - 896 mm（光学ズーム時は 28 - 224 mm）

セルフタイマーを使う

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターリングを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。

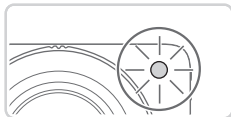


1 設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [C/F] を選んだあと、項目の [10] を選びます (44)。
- ▶ 設定されると [10] が表示されます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターリングを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターリングを全押しします。
- 動画を撮影するときは、[●] をタッチします。
- ▶ タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- ▶ 撮影の 2 秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、画面をタッチします。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [C/F] を選びます。



■ セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

シャッターリングを押してから約 2 秒後に撮影するため、シャッターリングを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。

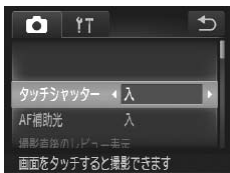


設定する

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1 (p.63) の操作で [c2] を選びます。
- ▶ 設定されると [c2] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2 (p.63) の操作で撮影します。

画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

シャッターリングを押す代わりに、画面をタッチするだけで被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。



1 タッチシャッター機能を使えるようにする

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[CAM] タブの [タッチシャッター] を選び、[入] を選びます (P45)。

2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 画面上の被写体を指で触れたままにします。
- 被写体にピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴ります。青色の枠が表示され、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。

3 撮影する

- 画面から指を離すとシャッター音が鳴り、撮影されます。
- タッチシャッターを使わないようにするとき、手順 1 の操作で [切] を選びます。



- 撮影した画像が表示されている状態でも、[戻る] をタッチすると、次の撮影ができます。



- [A] モードでは、手順 2 でタッチした位置に緑色の枠が表示され、ピントと明るさが固定されます。

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（タッチ AF）

目的の人の顔や被写体を選んだり、画面上の位置を指定してピントを合わせ、撮影できます。



1 ピントを合わせたい顔、被写体または位置を選ぶ

- 画面上の人や被写体にタッチします。



- ▶ 被写体として認識すると電子音が鳴り、
「」が表示されます（動いていてもピントを合わせ続けます）。

- 解除するときは、「」をタッチします。



2 撮影する

- シャッターリングを半押ししてピントが合うと、「」が青色の「」に変わり、明るさとピントを合わせ続けます（サーボ AF）。
- シャッターリングを全押しして撮影します。



- タッチすると撮影されるときは、[FUNC.]、[MENU] の順にタッチして「」タブの「タッチシャッター」を「切」にします（[65](#)）。
- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- 「個人認証」を「入」にしている、登録されている人の顔が検出されたときは、名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます（[68](#)）。ただし、被写体として指定した人が検出された人のときは名前が表示されます。

ストロボを光らせない

ストロボを光らせないで撮影することができます。設定すると動画の撮影でも光らなくなります。



設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [⚡A] を選び、[Ⓢ] を選びます (p.44)。
- ▶ 設定されると [Ⓢ] が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [⚡A] を選びます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターリングを半押しすると、画面に [Ⓢ] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

個人認証機能を使って撮る

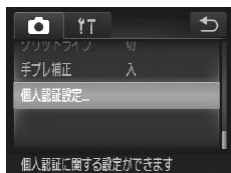
カメラに登録した人の顔を検出して、他の人よりも優先的なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。[AUTO] モードでは、登録した誕生日から赤ちゃんやこどもを判別し、最適な設定で撮影することができます。また、撮影した多くの画像の中から登録した人の画像を検索するとき(111)にも便利です。

個人情報について

- 個人認証機能で登録した顔の画像(顔情報)や、設定した個人情報(名前、誕生日)は、カメラに記録されます。また、撮影した静止画には、検出された人の名前が記録されます。そのため個人認証機能を設定したあとは、カメラや撮影した静止画を他人に渡したり、撮影した静止画をインターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除(76)してください。

人物情報を登録する

カメラに登録する人の人物情報(顔情報、名前、誕生日)を、最大12人まで登録することができます。

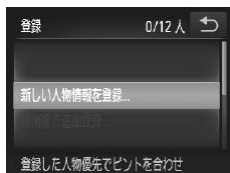


1 設定画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[CAM] タブの [個人認証設定] を選び、タッチします(45)。



- [登録] をタッチします。



- [新しい人物情報を登録] をタッチします。



2 顔情報を登録する

- 登録したい人の顔を、画面中央に表示される灰色の枠の中に収めます。
- 顔として認識されると枠が白くなりますので、この状態になったことを確認して撮影します。
- 顔として認識されないときは、登録できません。
- [登録しますか?] が表示されたら [OK] をタッチします。
- ▶ [プロフィール編集] 画面が表示されます。

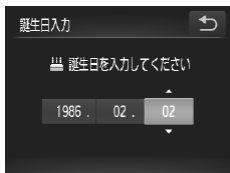


3 名前と誕生日を登録する

- 名前の入力欄をタッチします。



- 文字をタッチして入力します。
- [◀] か [▶] をタッチすると、文字を入力する位置を移動できます。
- [⇧] をタッチすると、大文字を入力できます。
- [123] をタッチすると、数字や記号が入力できます。
- [✕] をタッチすると、前の 1 文字が削除されます。
- [↩] をタッチすると、[プロフィール編集] 画面に戻ります。



- 誕生日を登録するときは、[プロフィール編集] 画面で誕生日の入力欄をタッチします。
- 設定する項目をタッチして選びます。
- [▲] か [▼] をタッチして設定します。
- すべての項目を設定したら、[↩] をタッチします。



4 登録する

- [保存] をタッチします。
- メッセージが表示されたら、[はい] をタッチします。

5 続けて顔情報を登録する

- 手順 2 の操作を繰り返して、残り 4 つの顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 手順 2 の操作で撮影したときは、ストロボは光りません。
- 手順 3 で誕生日を登録しないと、[AUTO] モードのときに赤ちゃんやこどものアイコンは表示されません (📖 58)。



- 登録されている顔情報を入れ換えたり、5つの顔情報を登録していないときは、あとで追加することができます (📖 74)。

撮る

カメラに登録した人の顔を優先的に主被写体と判断して、最適なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。



- ▶ カメラを人に向けると、検出された人の名前が最大3人まで画面に表示されます。
- 撮影します。
- ▶ 表示された人の名前が、静止画に記録されます。さらに画面に表示されていない人でも、検出されると名前が記録されます (合計 5 人まで)。



- 登録した顔と特徴が似ている顔を、誤って検出することがあります。



- [A] モードでは、名前は画面に表示されませんが、静止画には記録されます。
- 登録したときの顔情報と撮影したときの顔や撮影シーンが大きく違うときは、正しく検出されないことがあります。
- 登録した顔が検出されないときや、検出されにくいときは、登録されている顔情報を入れ換えてください。撮影する直前に顔情報を登録すると検出されやすくなります。
- 誤って検出されたまま撮影したときは、再生時に名前を入れ換えたり消したりすることができます（P113）。
- 赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします（P74）。
- 情報表示なし（P43）にすると、名前は表示されませんが、撮影される画像には名前が記録されます。
- 記録される静止画に名前を記録したくないときは、[カメラ] タブの [個人認証設定] の [個人認証] を [切] にします。
- 記録された名前は、再生画面（簡易情報表示）で確認することができます（P104）。

登録した情報を確認／編集する



1 〔情報確認／編集〕画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (📖68) の操作で〔情報確認／編集〕をタッチします。



2 確認／編集する人を選ぶ

- 確認／編集したい人を選び、タッチします。



3 確認／編集する

- 名前や誕生日を確認するときは、〔プロフィール編集〕をタッチします。表示された画面では、「人物情報を登録する」の手順3 (📖69) の操作で名前や誕生日を変えることもできます。
- 〔顔情報の一覧〕をタッチして顔情報を確認します。顔情報を消すときは、表示された画面で〔消去〕をタッチしたあと、消す顔情報をタッチします。〔消去しますか?〕が表示されたら、〔OK〕をタッチします。



- 〔プロフィール編集〕で名前を変えても、変更前に撮影された静止画に記録されている名前には反映されません。

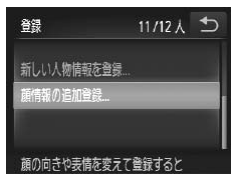


- 登録した名前は、付属のソフトウェアを使って編集することもできます。なお、付属のソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがあります。画像には正しく記録されます。

■ 顔情報を入れ換え／追加する

新しい顔情報に入れ換えることができます。顔が検出されにくいときや、特に赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします。

また、顔情報を5つ登録していないときは、追加で顔情報を登録します。



1 [顔情報の追加登録] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (書68) の操作で [顔情報の追加登録] をタッチします。



2 入れ換える人の名前を選ぶ

- 入れ換える人の名前をタッチします。
- 5つの顔情報が登録されているときは、メッセージが表示されるので、[OK] をタッチします。
- 登録されている顔情報が4つ以下のときは、手順4に進んで顔情報を追加します。



3 入れ換えたい顔情報を選ぶ

- 入れ換えたい顔情報をタッチします。



4 顔情報を登録する

- 「人物情報を登録する」の手順2 (📖69) の操作で撮影し、新しい顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 顔情報が5つ登録されているときは、追加はできません。上記の操作で顔情報を入れ換えてください。
- 登録している顔情報が4つ以下のときは、上記の操作であらたに顔情報を登録はできますが、入れ換えはできません。いったん顔情報を消して (📖76) から、新しい顔情報を登録 (📖68) してください。

登録した情報を消す

カメラに登録した人物情報（顔情報、名前、誕生日）を消すことができます。
なお、撮影した画像に記録されている名前は消えません。



1 「登録情報の消去」画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1（[106](#)）の操作で「登録情報の消去」を選びます。



2 人物情報を消す人の名前を選ぶ

- 人物情報を消す人の名前をタッチします。
- 「消去しますか？」が表示されたら、[OK]をタッチします。



- 登録情報を消すと、名前の表示（[109](#)）や、入れ換え（[113](#)）、検索（[111](#)）はできなくなります。



- 画像に記録された名前を消すこともできます（[113](#)）。

縦横比（アスペクト比）を変える

画像の縦横の比率を変えられます。



設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [4:3] を選び、設定したい項目を選びます（[44](#)）。
 - ▶ 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で [4:3] を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビと同じ縦横比です。
3:2	35mm フィルムと同じ縦横比です。2L判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L判、A判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- [A9] モードでは設定できません。

記録画素数（画像の大きさ）を変える

画像の記録画素数を 4 種類から選べます。それぞれの記録画素数で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）」（[216](#)）を参照してください。



設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [L] を選び、設定したい項目を選びます（[44](#)）。
 - ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [L] を選びます。

用紙の大きさで選ぶときの目安（縦横比 4:3 のとき）

A2 相当	L
A3 ~ A5 相当	M1
2L 判 はがき L 判相当	M2

- [S] は、電子メールで画像を送るときなどに適しています。

動画の画質を変える

3種類の画質から選べます。それぞれの画質で1枚のカードに撮影できる時間については「1枚のカードに撮影できる時間」(P216)を参照してください。



設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [1920] を選んだあと、目的の項目を選びます (P44)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [1920] を選びます。

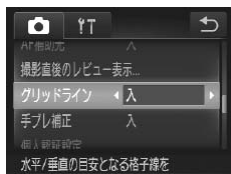
画質	記録画素数	フレーム数	内容
1920	1920 x 1080 画素	24 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
1280	1280 x 720 画素	30 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
640	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。



- [1920] [1280] では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。

グリッドラインを表示する

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線を画面上に表示することができます。



設定する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[CAM] タブの [グリッドライン] を選び、[入] を選びます (p.45)。
 - ▶ 設定されると格子線が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。



- 「グリッドライン」は画像に記録されません。

自分好みに機能を変える

【MENU】の【】タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（ 45）を参照してください。

静止画

AF 補助光（ランプ）を切る

暗いところでシャッターリングを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



設定する

- 【FUNC.】をタッチしたあと【MENU】をタッチして、【】タブの【AF 補助光】を選び、【切】を選びます（ 45）。
- 戻すときは、上記の操作で【入】を選びます。

撮影直後の画面表示を変える

撮影直後に画像が表示される時間を変えたり、画面の表示を変えることができます。

■ 撮影直後の画像表示時間を変える

1 [撮影直後のレビュー表示] 画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU]、[📷] タブ、[撮影直後のレビュー表示] の順にタッチします (📖45)。

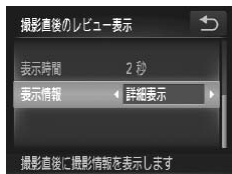
2 設定する

- [表示時間] を選んでから、設定したい項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [クイック] を選びます。



クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2 秒、4 秒、8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターリングを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターリングを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

撮影直後に表示される画面を変える



1 [表示時間] を [2 秒]、[4 秒]、[8 秒] または [ホールド] にする (📖 82)

2 設定する

- [表示情報] を選んでから、設定したい項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を選びます。

非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示 (📖 208) になります。



- [表示時間] (📖 82) で [クイック] または [切] を選んでいるときは、[非表示] に固定されます。
- 撮影直後に画像が表示されているときは、画面をタッチすると表示情報を切り換えられます。ただし、[📷] タブの [表示情報] で設定した内容は変わりません。また、[FUNC.] をタッチすると以下の操作を行えます。
 - 消去 (📖 116)
 - お気に入り (📖 121)

4

いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る

効果をつけて撮る

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



1 [カメラ] モードにする

- モードスイッチを [カメラ] にします。



2 撮影モードを選ぶ

- [AUTO] をタッチします。
- [◀] か [▶] をタッチしたり、画面を左右方向に素早くドラッグすると、別の撮影モードが表示されます。
- 撮りたいモードをタッチすると、選んだ撮影モードの説明が表示されます。
- [OK] をタッチして決定します。
- [↶] をタッチすると撮影モードを選ぶ画面に戻ります。



3 撮影する

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

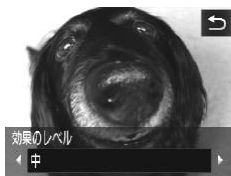
1 [魚眼] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る」の手順1～2（ 86）の操作で [魚眼] を選びます。

2 効果を選ぶ

- [魚眼] をタッチしたあと、[◀] か [▶] をタッチして効果のレベルを選び、[↺] をタッチします。
- ▶ 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [効果] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る」の手順 1～2（[図86](#)）の操作で [効果] を選びます。
- ▶ 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントが合う位置と範囲を指定する

- ピント位置を変えるときは、画面をタッチするか、白い枠を上下方向にドラッグします。
- ピントの範囲を変えるときは、[FUNC] をタッチして、[F5] [F6] [F7] のいずれかをタッチして選び、[方向キー] をタッチします。

3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- [10x] をタッチして、[5x] [10x] [20x] のいずれかをタッチして倍速（速さ）を選び、[方向キー] をタッチします。



4 撮影する

■ 倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒



- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順 2 の画面で [縦] をタッチすると枠が縦になり、画面をタッチして位置を変えられます。もう一度 [縦] をタッチすると枠が横に戻ります。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で [4:3] を選んだときは [640] に、[16:9] を選んだときは [1280] に固定されます (P.77)。

トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [☒] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る」の手順 1～2（[86](#)）の操作で [☒] を選びます。

2 色調を選ぶ

- [☒] をタッチしたあと、[◀] か [▶] をタッチして色調を選び、[↶] をタッチします。
- ▶ 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する



標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 [👤] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る」の手順 1 ～ 2（ 86）の操作で [👤] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [📷] をタッチしたあと、[◀] か [▶] をタッチして効果のレベルを選び、[↺] をタッチします。
- ▶ 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

単色で撮る（モノクロ）

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 [■] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る」の手順 1～2（[86](#)）の操作で [■] を選びます。

2 色調を選ぶ

- [■] をタッチしたあと、[◀]か[▶]をタッチして色調を選び、[↶] をタッチします。
- ▶ 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する



白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

ハイスピード動画を撮る

動きの速い被写体を撮影し、スローモーション再生することができます。
なお、音声は録音されません。

1 【】を選ぶ

- 「効果をつけて撮る」の手順 1～2 (1086) の操作で【】を選びます。



2 フレームレートを選ぶ

- 【FUNC.】をタッチして、メニュー項目の【】を選び、フレームレートを選びます (1044)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。



3 撮影する

- 【】をタッチします。
- ▶ 撮影時間に連動したバーが表示されます。
なお、撮影できる時間は、最長約 30 秒です。
- 【】をタッチすると撮影が終わります。

フレーム数	画質	再生時間 (30 秒間撮影したとき)
 240 フレーム / 秒	 (320 x 240 画素)	約 4 分
 120 フレーム / 秒	 (640 x 480 画素)	約 2 分



- 撮影中はズームリングを操作しても、ズームできません。
- ピント、露出、色あいは【】をタッチしたときに固定されます。



- 撮影した動画を再生 (1104) すると、スローモーション再生されます。
- 撮影した動画は、付属のソフトウェアを使うと、再生速度を変えて見ることができます。「ソフトウェアの使用説明書」(131) を参照してください。

5

P モード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る

- **【P】** モードになっていることを前提に説明しています。
- **【P】** は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を **【P】** モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（📖210～211）。

プログラム AE で撮る ([P] モード)

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- 「効果をつけて撮る」の手順 1～2 (書 86) の操作で **[P]** を選びます。

2 目的に応じて各機能を設定 (書 97～102) し、撮影する



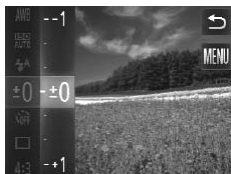
- シャッターリングを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッター速度と絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO 感度を変えたり (書 98)、被写体が暗いときにストロボを発光させる (書 101) と、適正露出が得られることがあります。
- [P]** モードでも、**[●]** をタッチすると動画が撮影できます。ただし、**[FUNC.]** や **[MENU]** の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

明るさ（露出）に関する機能を使う

静止画

明るさを変える（露出補正）

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、± 2 段の範囲で補正できます。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [±0] を選び、画面の表示を見ながら明るさを補正します（[図 44](#)）。
 - ▶ 設定した補正量が表示されます。

静止画

測光方式を変える

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [☉] を選び、設定したい項目を選びます（[図 44](#)）。
 - ▶ 設定した項目が表示されます。

[☉] 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
[□] 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
[●] スポット測光	画面中央に表示される []（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。

ISO 感度を変える



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [ISO] を選び、設定したい項目を選びます（[44](#)）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

ISO AUTO	撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定	
ISO 80 ISO 100 ISO 200	低い ↑ ↓ 高い	晴天の屋外
ISO 400 ISO 800		曇り空、夕方
ISO 1600 ISO 3200 ISO 6400		夜景、暗い室内



- [ISO] では、シャッターリングを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。

色あいを調整する（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の「AWB」を選び、設定したい項目を選びます（[44](#)）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

AWB	オート	撮影シーンに応じて自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇り空や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯

連続して撮る

シャッターリングを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。
連続撮影の速度は「連続撮影の速さ」(217) を参照してください。



1 設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [] を選んだあと、項目の [] を選びます (44)。
- ▶ 設定されると [] が表示されます。

2 撮影する

- ▶ シャッターリングを全押ししている間、連続撮影されます。



- セルフタイマー (63) とは一緒に使えません。
- 連続撮影中は、シャッターリングを半押ししたときのピント位置と露出に固定されます。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- タッチシャッター機能 (65) では連続撮影されず、1 枚だけが撮影されます。



- [] では、個人認証機能 (68) を使って撮影すると、名前は 1 枚目に記録された位置に固定されます。被写体が動いても、2 枚目以降も 1 枚目と同じ位置に記録されます。

ストロボを発光させる

ストロボを常に発光させて撮影できます。設定すると動画の撮影中も常に発光します。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」(P217)を参照してください。



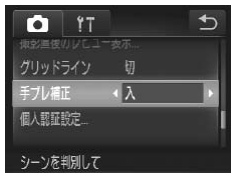
設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [⚡^A] を選んだあと、項目の [⚡] を選びます (P44)。
 - ▶ 設定されると [⚡] が表示されます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

手ブレ補正の設定を変える



- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[📷] タブの [手ブレ補正] を選び、目的の項目をタッチします (📖45)。

入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定 (マルチシーン IS) されます (📖60)。
撮影時*	撮影される瞬間のみ手ブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

* 動画を撮影するときは、[入] の設定に変わります。



- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切] にすることをおすすめします。

6

再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って
画像の検索や編集をする

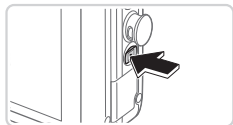
- <▶> ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。



- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



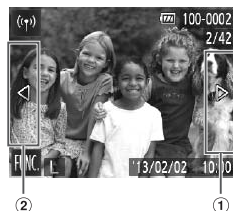
1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。

2 画像を選ぶ



- 画面を左方向にドラッグすると次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。



- 画面右端（左の画面の①の枠内）をタッチすると、[▶] が表示され、次の画像が表示されます。画面左端（左の画面の②の枠内）をタッチすると、[◀] が表示され、前の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] をタッチしたままにすると、画像が速く切り換わります。



- 連続して素早くドラッグすると左の画面が表示されます（スクロール再生）。
- この状態で、左右方向にドラッグして画像を選びます。
- 中央の画像をタッチすると 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると、日付ごとにジャンプして画像を探せます。



- 動画では、[▶] が表示されます。動画を再生するときは手順3に進みます。

3 動画を再生する

- [▶] をタッチすると再生がはじまります。

4 音量を調整する

- 上下方向に素早くドラッグして調節します。
- 音量バーが消えても、上下方向に素早くドラッグして調節することができます。



音量

5 一時停止する

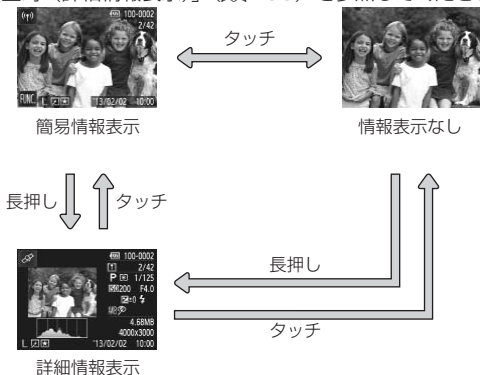
- 再生中に画面をタッチすると停止し、動画操作パネルが表示されます。[▶] をタッチすると再開されます。
- ▶ 再生が終わると [◀] が表示されます。



- 電源が入っているときは、<▶> ボタンを押すたびに、再生モード、撮影モードが切り替わります。
- レンズが出ているときは再生モードの状態でシャッターリングを半押しすると撮影モードになります（充電時（ 18）を除く）。
- 音量バーをタッチすると音量パネルが表示されるので、[▲] か [▼] をタッチして調節することもできます。

表示を切り換える

画面をタッチすると画面表示が切り替わります。また、画面を長押しすると（タッチしたままにする）と詳細情報を表示できます。詳細情報表示で画面をタッチすると、元の表示に戻ります。画面に表示される情報の詳細については、「再生時（詳細情報表示）」（ 208）を参照してください。

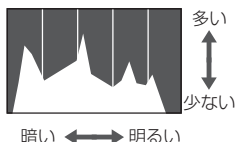


- Wi-Fi でプリンター以外の機器と接続しているときは、表示を切り換えることはできません。

高輝度（ハイライト）警告

「詳細情報表示」（ 106）にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

ヒストグラム



- 「詳細情報表示」(📖 106) のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

GPS 情報表示



- カメラとスマートフォンを Wi-Fi でつなぐと、スマートフォンを操作してカメラ内の画像に GPS 情報（緯度、経度、標高など）を記録することができます（ 167）。「詳細情報表示」では、GPS 情報が記録された画像に [✕] が表示され、タッチすると、記録した情報を確認できます。表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。



- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「--」が表示されます。

静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

〔A〕モード（ 55）で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- 〔A〕モードで撮影した静止画には〔FUNC. でダイジェスト動画を再生〕が表示されます。



2 ダイジェスト動画を再生する

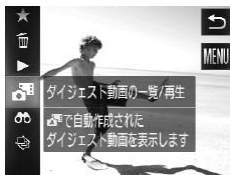
- 〔FUNC.〕をタッチしてメニュー項目の〔▶〕を選びます（ 44）。
- ▶ 静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画が先頭から再生されます。



- 〔FUNC. でダイジェスト動画を再生〕は一定時間で消えます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- 〔FUNC.〕をタッチして、メニュー項目の〔📷〕を選びます（ 44）。

2 再生する

- 目的の日付をタッチすると、動画が再生されます。

個人認証機能で検出された人を確認する

簡易情報表示 (📖 106) にすると、個人認証機能 (📖 68) に登録している人として検出された最大 5 人までの名前が表示されます。



簡易情報表示にして確認する

- 画面をタッチして簡易情報表示にしたあと、左右方向にドラッグして画像を選びます。
- 検出された人に名前が表示されます。



- 個人認証機能で撮影した画像に名前を表示させたくないときは、[FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして [🔍] タブの [認証情報] から [名前表示] を選び、[切] を選びます。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

静止画

動画

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

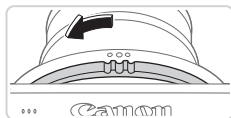
- 1枚表示の状態では、2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと一覧表示になります。
- 同じ動作を繰り返すたびに、表示される画像の数が増えます。



2 画像を選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。
- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと、表示される画像の数が減ります。
- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が1枚表示になります。

ズームリングで操作する



- ズームリングを図の方向に回すと一覧表示になり、さらに回すと表示される画像の数が増えます。
- ズームリングを図と逆の方向に回すたびに、表示される画像の数が減ります。

指定した条件で画像を探す

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。

 名前	登録した人の画像 (📖68) を表示
 人物	顔が検出された画像を表示
 日付	指定した撮影日の画像を表示
★ お気に入り	お気に入り設定した画像 (📖121) を表示
 静止画／動画	静止画、動画、[A] モード (📖55) で作成された動画のいずれかを表示



1 検索条件を選ぶ

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [👤] を選び、目的の条件を選びます (📖44)。
- [👤] [🕒] [👤] を選んだときは、表示された画面で条件をタッチします。



2 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠付きで表示され、画面を左右方向にドラッグすると検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、手順 1 の操作で [👤] を選びます。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。また、人物情報が登録されていないとき (📖 68) は、[👤] を選ぶことはできません。



- 検索した画像を表示しているとき (手順 2) は、「一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す」 (📖 110)、「スライドショーで見る」 (📖 115)、「拡大して見る」 (📖 114) などの操作で画像を見ることもできます。また、「まとめて消す」 (📖 117)、「フォトブック指定」 (📖 192) で「検索したすべての画像を指定」を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存 (📖 125) などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

個人認証情報を編集する

再生時に画面に表示された名前が誤っているときは、正しい名前に入れ換えたり、消したりすることもできます。

ただし、検出されず名前が表示されなかった人や名前を消した人に、あとから名前を付けることはできません。

名前を入れ換える



1 設定画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[▶] タブの [認証情報] を選び、タッチします (P45)。
- [認証情報の編集] をタッチします。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[OK] をタッチします。
- 名前を入れ換えたい顔をタッチして選びます。



3 編集内容を選ぶ

- [入れ換え] をタッチします。

4 入れ換える人の名前を選ぶ

- 入れ換える人の名前をタッチします。

名前を消す

- 「名前を入れ換える」の手順 3 (P113) で表示された画面で [消去] をタッチします。
- [消去しますか?] が表示されたら、[OK] をタッチします。

拡大して見る



1 拡大する

- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと拡大表示になります。
- 同じ動作を繰り返すと、最大約10倍まで画像を拡大できます。
- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと、縮小表示になります。



表示位置の目安

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

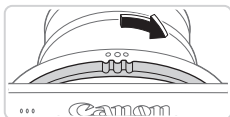
- 画面をドラッグすると、表示位置が移動します。
- [↶] をタッチすると1枚表示に戻ります。

素早く2回タッチして拡大する



- 画面を素早く2回タッチすると約3倍に拡大することができます。
- 拡大表示されているときに素早く2回タッチすると、1枚表示に戻ります。

ズームリングで操作する



- ズームリングを図の方向に回すことでも拡大表示でき、回したままにすると最大 10 倍まで拡大できます。
- ズームリングを図と逆の方向に回すと縮小表示になり、回したままにすると 1 枚表示に戻ります。

静止画

動画

スライドショーで見る

カードに記録されている画像を自動的に再生します。画像 1 枚あたりの表示時間は約 3 秒です。



スライドショーをはじめる

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [🔍] を選びます (📖44)。
- ▶ [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- 画面をタッチすると終わります。



- スライドショーは繰り返して表示されます。
- スライドショー中に節電機能 (📖40) は働きません。



- 検索 (📖111) しているときは、対象の画像のみが再生されます。
- タッチアクションでスライドショーをはじめることもできます (📖123)。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像は元に戻せないの十分を確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。

2 消す

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [画] を選びます (📖 44)。
- [消去しますか?] が表示されたら、[消去] をタッチします。
- ▶ 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[キャンセル] をタッチします。



- タッチアクションで消すこともできます (📖 123)。

まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないの
で十分に確認してから消してください。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[▶] タブの [消去] を選びます (📖 45)。



2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます (📖 45)。
- [↶] をタッチするとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 [画像指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (📖 117) の操作で [画像指定] をタッチします。



2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、画面をタッチすると [✓] が表示されます。
- もう一度画面をタッチすると解除され、[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [OK] をタッチすると確認画面が表示されます。



3 消す

- [OK] をタッチします。

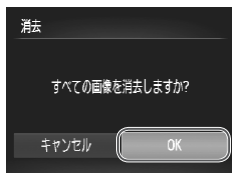
■ すべての画像を指定する

1 [すべての画像を指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (117) の操作で [すべての画像を指定] をタッチします。

2 消す

- [OK] をタッチします。



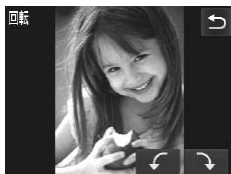
回転する

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [回転] を選ぶ

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [回転] を選びます (P.44)。



2 回転する

- [↶] か [↷] をタッチすると指定した方向に 90 度単位で回転し、[↻] をタッチすると設定されます。



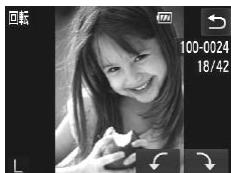
- 画質が [F1920] [F1280] の動画は回転できません。
- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (P.120)。

メニューから操作する



1 「回転」を選ぶ

- [FUNC.]、[MENU] の順にタッチして、[▶] タブの「回転」を選びます (📖45)。

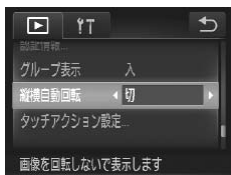


2 回転する

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。
- [↶] か [↷] をタッチすると指定した方向に 90 度単位で回転します。
- 複数の画像を回転するときは、手順 2 の操作を繰り返します。
- [↶] をタッチするとメニュー画面に戻ります。

自動回転機能を切る

縦位置で撮影した画像をカメラで見るときは、自動回転して縦位置で表示されます。この機能を使わないようにできます。



- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[▶] タブの「縦横自動回転」を選び、項目の「切」を選びます (📖45)。



- 「切」にすると、画像の回転 (📖119) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。

お気に入り設定をする

お気に入りを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 見る (📖104)、スライドショーで見る (📖115)、消す (📖116)、フォトブック指定 (📖192)



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [★] を選びます。
- ▶ [お気に入り指定しました] が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度 [★] を選びます。

メニューから操作する



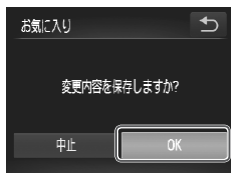
1 【お気に入り】を選ぶ

- [FUNC.]、[MENU] の順にタッチして、[📺] タブの [お気に入り] を選びます (📖45)。



2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、画面をタッチすると [✓] が表示されます。
- もう一度画面をタッチすると [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- [OK] をタッチすると確認画面が表示されます。



3 設定する

- [OK] をタッチします。



- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。



- Windows 8、Windows 7、Windows Vista をお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が 3 (★★★★☆☆) に設定されます (動画を除く)。
- タッチアクションでお気に入りを設定することもできます (📖 123)。

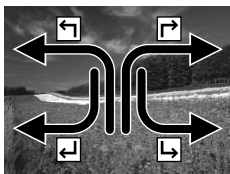
タッチアクションでかんたんに操作する

1 枚表示のとき、特定の 4 方向に画面をドラッグすると、それぞれの方向に登録してある機能を素早く、かんたんに呼び出すことができます。

【←】に登録されている機能を使う



- 画面を図のようにドラッグします。
- ▶ 【←】に登録されている機能が呼び出されます。



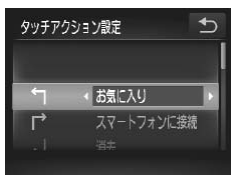
- 【↗】【↖】【↘】に登録されている機能も同じように画面をドラッグして呼び出すことができます。
- タッチアクションに登録されている機能は変えられます。

タッチアクションの機能を変える

それぞれの方向のドラッグ操作に登録されている機能を、自分好みに変えて使いやすくすることができます。

1 設定画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、 タブの [タッチアクション設定] を選びます (P45)。



2 タッチ操作に機能を登録する

- 画面を上下方向にドラッグして、タッチ操作の方向を選びます。
- [] か [] をタッチして、タッチ操作に登録する機能を選びます。

登録できる機能

お気に入り	画像をお気に入りに設定したり、解除したりします。
次のお気に入り画像	次のお気に入り設定された画像を表示します。
前のお気に入り画像	前のお気に入り設定された画像を表示します。
次の日の画像	次の日に撮影した最初の画像を表示します。
前の日の画像	前の日に撮影した最初の画像を表示します。
カメラに接続	Wi-Fi 機能の画面を表示します。 Wi-Fi 機能については、「Wi-Fi 機能」(P131) を参照してください。
スマートフォンに接続	
パソコンに接続	
プリンターに接続	
Web サービスに接続	
スライドショー	スライドショーを開始します。
消去	画像を消去します。
回転	画像を回転します。

静止画を編集する



- 静止画の編集機能 (📖 125) は、カードに空き容量がないと使えません。

静止画

赤目を補正する

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[📺] タブの [赤目補正] を選びます (📖 45)。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。

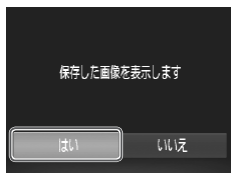
3 補正する

- [OK] をタッチします。
- ▶ 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」 (📖 114) の操作で画像を拡大／縮小できます。

4 新規保存して画像を確認する

- [新規保存] をタッチします。
- ▶ 別画像として保存されます。





5 画像を確認する

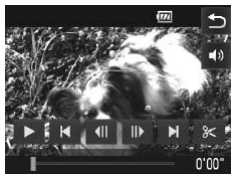
- [↶] をタッチすると「保存した画像を表示します」が表示されます。
- [はい] をタッチします。
- ▶ 保存した画像が表示されます。



- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順 4 で「上書き保存」を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。

動画を編集する

撮影した動画の前後を削除できます。



1 編集範囲を指定する

- 動画再生中に画面をタッチして動画操作パネルを表示します。
- [⏮️]、[⏭️]、スクロールバーをタッチして基準になるフレームを表示します。
- ▶ 編集できるところで [✂️] が [🔍] に変わります。

2 [🔍] または [✂️] をタッチする

- ▶ [表示シーンを基準に削除します] が表示されます。
- [✂️] が表示されているときにタッチしても、[前部を削除] では1つ左側の [🔍] 位置よりも前部、[後部を削除] では1つ右側の [🔍] 位置よりも後部が削除されます。

3 削除する範囲を選ぶ

- [前部を削除] または [後部を削除] をタッチします。
- [前部を削除] では、表示しているシーンより前の部分が削除されます。
- [後部を削除] では、表示しているシーンより後ろの部分が削除されます。

4 編集した動画を保存する

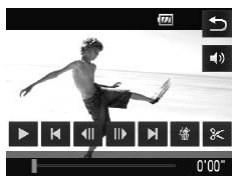
- [新規保存] をタッチします。
- ▶ 別動画として保存されます。
- キャンセルするときは [中止] をタッチします。
- 編集範囲を指定しなおすときは [↶] をタッチします。



- 手順 4 で「上書き保存」を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、「上書き保存」しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）（P.184）を使うことをおすすめします。

ダイジェスト動画を編集する

[] モードで作成されたチャプター (📖 55) を 1 つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 チャプターを選ぶ

- 「静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る」の手順 1～2 (📖 108) の操作で [] モードで作成された動画を再生し、画面をタッチして動画操作パネルを表示します。
- [] か [] をタッチしてチャプターを選びます。

2 [] をタッチする

- ▶ 選んだチャプターが繰り返し再生されます。

3 確認して消す

- [OK] をタッチします。
- ▶ チャプターが消去され、上書き保存されます。



- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [] は表示されません。

7

Wi-Fi 機能

カメラで撮影した画像を Wi-Fi 機能を使っていろいろな対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する

Wi-Fi を使ってできること

このカメラは Wi-Fi[®]* (ワイファイ) 認定製品です。以下の機器と Wi-Fi で接続し、接続した機器へ画像を送信できます。

なお、本章では、Wi-Fi 以外の無線 LAN 機能も Wi-Fi と記載していることがあります。

* Wi-Fi とは、相互接続性が認定されたことを示す Wi-Fi 機器のブランド名称です。



スマートフォンとつなぐ

Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末を登録しておく、<□> ボタンを押すだけで、スマートフォンやタブレット端末と Wi-Fi で接続して、カメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。また、カメラで撮影した画像に、スマートフォンやタブレット端末から位置情報を、記録することができます。まず、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。詳しくは、キヤノンの Web サイトでご確認ください。

なお、以降、スマートフォンとタブレット端末を合わせて「スマートフォン」と記載しています。



Web サービスとつなぐ

CANON iMAGE GATEWAY は、本製品を購入された方がご利用いただけるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）をすれば、パソコンで設定した SNS などのいろいろな Web サービスを、CANON iMAGE GATEWAY 経由でご利用いただけます。また、カメラ内の画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンに自動で送信することもできます。



別のカメラとつなぐ

Wi-Fi 機能を持つキヤノン製のコンパクトデジタルカメラ同士で画像を送信できます。



パソコンとつなぐ

付属のソフトウェアを使って、カメラで撮影した画像を Wi-Fi でパソコンに送信できます。詳しくは、「ソフトウェアの使用説明書」を参照してください。



プリンターとつなぐ

Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応したプリンターに画像を送信して印刷できます。

Wi-Fi を使ってカメラから画像を送信するまで

スマートフォンとつなぐとき

スマートフォンに CameraWindow をインストールしたあと、<☐> ボタンを押してスマートフォンに接続し、カメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます (📖138)。



- Wi-Fi メニューからスマートフォンを登録することもできます (📖142)。

他の機器や Web サービスとつなぐとき

やること \ 機器					
準備	カメラにニックネームを登録する (📖143)	○	○	○	○
	パソコンに付属のソフトウェアをインストールする (📖31) *1	○	—	○	—
	CANON iMAGE GATEWAY から Web サービスを利用するための設定を行う (📖145)	○	—	—	—
接続	カメラとつなぐ	○ (📖145)	○ (📖150)	○ (📖151)	○ (📖160)
取り込み・印刷	画像を送る (📖162)	○*2	○	—	—
	画像をパソコンに取り込む (📖159)	—	—	○	—
	画像を印刷する (📖160) *3	—	—	—	○

*1 ここでは、付属の CD-ROM を使ってソフトウェアが正しくインストール (📖31) されていることを前提に説明しています。

*2 サーバー経由転送のときは、自動で送信されます (📖166)。

*3 詳しい印刷方法については、「印刷する」(📖189) を参照してください。

Wi-Fi (無線 LAN) について

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。モデルナンバーは、PC1864 です。
- 無線 LAN が使える国や地域について
 - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトでご確認ください。
 - なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。本製品に登録した無線 LAN の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 本書に記載している使用方法をお守りください。

本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。

無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

この表示は 2.4 GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

Complies with
IDA Standards
DB00671

シンガポール IDA 規格の認可済み WLAN Module が組み込まれています。

セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う

本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受

悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。

- ネットワークへの不正アクセス

悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。

Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

ここでは、Wi-Fi に関する用語について説明しています。また、本文中にも同様に用語を説明している箇所がありますので、あわせてご確認ください。

- アクセスポイント

Wi-Fi のネットワークを構築するときに電波の中継をする装置です。Wi-Fi でインターネットに接続できるネットワークのことを指す場合もあります。

- ファイアウォール

コンピューターウィルスや外部からの不正アクセスなど、セキュリティ上の脅威からネットワークを守るためのシステムです。Wi-Fi ルーターやお使いのパソコンの OS などに設定されています。

- SSID / ESSID

特定のアクセスポイントを指定するためにあらかじめ設定されている英数字のことです。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれています。

- 暗号化キー

アクセスポイントと通信する際にデータを暗号化するためのキー（鍵）です。

- IP アドレス

機器を識別するためのネットワーク内でのアドレス（住所）です。

- MAC アドレス

ネットワーク機器にあらかじめ割り当てられている一意なアドレスです。「物理アドレス」とも呼ばれています。



この製品は、Wi-Fi 経由での PictBridge（ピクトブリッジ）でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でも PictBridge を利用できる DPS over IP（ディーピーエス オーバー アイピー）という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

スマートフォンとつなぐ

<□> ボタンを押してスマートフォンといったん Wi-Fi 接続すると、次回からは <□> ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続して、カメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。

スマートフォンに CameraWindow をインストールする

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「CameraWindow」（無料）をインストールします。



1 スマートフォンをネットワークに接続する



2 CameraWindow をインストールする

- iPhone や iPad では、App Store から CameraWindow をダウンロードし、インストールします。
- Android 端末では、Google Play から CameraWindow をダウンロードし、インストールします。



3 スマートフォンの名前を登録する

- スマートフォンで CameraWindow を起動し、カメラに表示させるスマートフォンの名前を入力します。



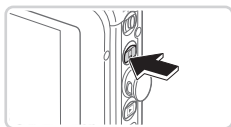
- アプリケーションの詳細（対応するスマートフォンや機能など）については、キャノンの Web サイトでご確認ください。

スマートフォンに接続する

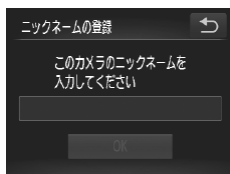
スマートフォンと Wi-Fi で接続するには、このカメラをアクセスポイントにするか、すでにお使いのアクセスポイントを使って接続します。

ここでは、カメラをアクセスポイントにして接続する手順について説明します。ほかのアクセスポイントを使うときは、「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」(157) を参照してください。

なお、<☎> ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台です。

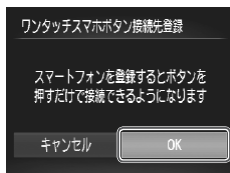


1 <☎> ボタンを押す

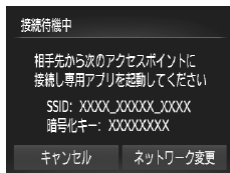


2 ニックネームを登録する

- 左の図の枠内をタッチしてキーボードを表示し、ニックネーム（接続先の機器で表示されるカメラの名前）を入力します (143)。
- 最大 16 文字まで入力できます。



3 画面の表示を確認して、[OK] をタッチする



- ▶ 画面にカメラの SSID と暗号化キーが表示されます。



4 スマートフォンを操作して、カメラの画面に表示されたネットワークに接続する

- お使いのスマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択します。
- パスワード欄には、カメラに表示された暗号化キーを入力します。



5 スマートフォンを操作して、「CameraWindow」を起動する

- ▶ カメラがスマートフォンを認識すると、接続する機器を選択する画面がカメラに表示されます。



6 接続するスマートフォンを選ぶ

- 接続したいスマートフォンの名前をタッチします。



- ▶ スマートフォンが接続され、カメラの画面にスマートフォンの名前が表示されます (約 1 分後に画面は消えます)。



7 画像を取り込む

- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。
- スマートフォンを操作して接続を切断すると、カメラの電源は自動的に切れます。



- 接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、手順 3 の操作でそのアクセスポイントにカメラが自動で接続します。アクセスポイントを変更したいときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選び、「パソコンを登録する」の手順 4～6 の操作（ 155）で設定してください。



- カメラを操作するときは、スマートフォンで接続を切断するか、カメラの電源ボタンを押すことでいったん電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
- いったんスマートフォンに接続すると、カメラの電源を切っていても、<□> ボタンを押すだけで、登録したスマートフォンに自動で接続できるようになります。
- お使いのスマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書等でご確認ください。
- 登録したスマートフォンを解除するときは、[FUNC.]、[MENU] の順にタッチすると表示されるメニュー画面で [👆] タブの「ワンタッチスマホボタン設定」を選び、確認画面で [OK] をタッチすると解除されます。
- 日付／時刻が設定されていないときは、手順 2 で「日付／時刻」画面が表示されるので、「日付／時刻を設定する」の手順（ 22）で日付を設定してください。

■ ほかのスマートフォンを登録する

<□> ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台だけです。

- ほかのスマートフォンを <□> ボタンに登録するときは、[FUNC.]、[MENU] の順にタッチすると表示されるメニュー画面で [👆] タブの「ワンタッチスマホボタン設定」を選び、確認画面で [OK] をタッチして、登録済みのスマートフォンを解除してから、登録してください。
- 複数のスマートフォンを登録するときは、Wi-Fi メニューからほかのスマートフォンを登録してください（ 142）。

■ Wi-Fi メニューからスマートフォンを登録する

再生モードで〔Ⓜ〕をタッチして表示される Wi-Fi メニューで、〔📶〕をタッチしてスマートフォンを登録することもできます。

なお、<📶> ボタンを押して登録するときと、次の点が異なります。

- 接続するときは Wi-Fi メニューから操作します (📖 143)。<📶> ボタンを押してもスマートフォンに接続できません。
- 接続を切断してもカメラの電源は切れません。
- カメラを操作して画像をスマートフォンに送ることができます。
- 複数のスマートフォンを登録できます。
- 「スマートフォンに接続する」の手順 6 (📖 140) の操作でスマートフォンを選んだあと、公開設定（カメラ内の画像をスマートフォンに表示させるかどうか）を選ぶ画面が表示されます。[いいえ] を選ぶとスマートフォンにカメラ内の画像が表示されないようになります。



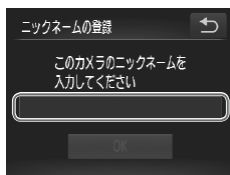
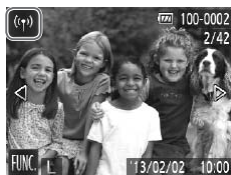
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更するには、[接続先の機器の編集] (📖 168) で設定を変更したいスマートフォンを選択し、[画像の公開設定] を選びます。
- タッチアクション設定 (📖 123) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

Wi-Fi メニューを表示する

はじめて Wi-Fi 接続するとき

カメラにニックネームをつけていないときは、はじめに、カメラにニックネームを登録します。

このニックネームは、Wi-Fi で他の機器と接続するとき、接続先の機器で表示されます。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- [(P)] をタッチします。
- [(P)] は、1 枚表示のときに表示されます。一覧表示（インデックス表示）のときには表示されません。

2 キーボードを表示する

- 左の図の枠内をタッチします。

3 ニックネームを入力する

- キーボードをタッチして文字を入力します。
 - 最大 16 文字まで入力できます。
 - [◀] か [▶] をタッチすると、文字を入力する位置を移動できます。
 - [⇧] をタッチすると、大文字を入力できます。
 - [123] をタッチすると、数字や記号が入力できます。
 - [✕] をタッチすると、前の 1 文字が消去されます。
 - [↩] をタッチしたあと、[OK] をタッチします。
- ▶ Wi-Fi メニューが表示されます。



- パソコン以外の機器と Wi-Fi で接続するときは、カメラにカードが入っている必要があります。また、Web サービス、スマートフォン、プリンターと Wi-Fi で接続するときは、カードに画像が保存されている必要があります。
- カメラの [📷] タブの [Wi-Fi 設定] で [ニックネームの変更] を選ぶとニックネームを変更できます。

Wi-Fi 接続したことがあるとき

Wi-Fi 接続した機器があるときは、[📶] をタッチすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目を選ぶだけでかんたんに選んで接続することができます。

新しく接続先を登録するときは画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。



- [FUNC.] [MENU] の順にタッチして、[📷] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。

いろいろな Web サービスをカメラに登録する方法について説明します。

CANON iIMAGE GATEWAY から Web サービスを利用するための設定を行う

利用する Web サービスのアカウント情報を設定します。

- CANON iIMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定にはパソコンが必要です。
- 設定には、付属のソフトウェアの「CameraWindow」を使うので、事前に付属の CD からインストールしておいてください (📖33)。また、サーバー経由転送ができるパソコンの環境は「パソコンに必要なシステム構成」(📖32) でご確認ください。
- CANON iIMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、キヤノンの Web サイト (<http://canon.com/cig>) でご確認ください。

1 CANON iIMAGE GATEWAY に 会員登録する

- パソコンなどからインターネットで、「<http://canon.com/cig>」へ接続し、お住まいの地域の CANON iIMAGE GATEWAY のサイトへアクセスします。
- 画面の指示にしたがって会員登録 (無料) を行います。
- CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスへのアカウント登録も必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトをご確認ください。

2 カメラとパソコンをインター フェースケーブルで接続する (📖34)

- お使いのパソコンが Windows のときは、事前に設定 (📖153) しておくと、インターフェースケーブルを使わずに Wi-Fi でも接続できます。



3 CameraWindow を表示する (36)

4 CANON iMAGE GATEWAY の ログイン画面を表示する

- [カメラ設定] をクリックしたあと、[Web サービスを設定する] をクリックします。



5 CANON iMAGE GATEWAY に ログインする

- CANON iMAGE GATEWAY のログイン名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



6 利用する Web サービスの設定を する

- 画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定を行います。
- Web サービスの設定が終わったら、画面下の [完了] をクリックして設定画面を閉じます。



7 Web サービスの設定をカメラに反映する

- カメラに設定したい Web サービス名を選択し、中央の  をクリックします。
- ▶ カメラに反映する Web サービス名が「カメラ」欄に表示されます。
- [▲] や [▼] をクリックして、カメラの Wi-Fi メニューに表示される Web サービスの順番を変更することもできます。
- 「カメラ」欄が設定したい状態になったら、この画面を終了します。
- ▶ Web サービスやサーバー経由転送の設定がカメラに反映されます。



- CANON iMAGE GATEWAY をお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境（プロバイダーとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iMAGE GATEWAY のサイトでご確認ください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。



- 手順 5 で CANON iMAGE GATEWAY に 2 回目以降にログインしたときは、手順 7 の画面が表示されます。利用する Web サービスの設定を行うには [Web サービスの編集] をクリックします。
- Web サービスの追加や変更をするときは、手順 2 から繰り返します。

Web サービスに接続する

カメラに登録した Web サービスへ接続します。

1 Wi-Fi メニューを表示する

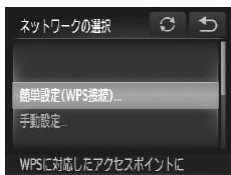
- [(P)] をタッチします (143)。

2 Web サービスを選ぶ

- 送信先の Web サービスのアイコンをタッチします。
- 同じサービスに対して複数の送信先があるときは、続けて「送信先の選択」画面で送信先をタッチします。

3 アクセスポイントに接続する

- WPS 対応のアクセスポイントのときは、「パソコンを登録する」の手順 4 ～ 6 (155) の操作でアクセスポイントに接続します。
- WPS 非対応のアクセスポイントのときは、「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」の手順 2 ～ 3 の操作 (157 ～ 158) でアクセスポイントに接続します。



- ▶ Web サービスに接続されると、画像を送信する画面が表示されます。「画像を送る」(162) に進んでください。
- ▶ [サーバー経由転送] のときは、画像の送信がはじまります (166)。



- 接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、手順 2 の操作でそのアクセスポイントにカメラが自動で接続します。アクセスポイントを変更したいときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選び、「パソコンを登録する」の手順 4 ～ 5 (📖 155) の操作で設定してください。



- タッチアクション設定 (📖 123) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続していきます。

別のカメラとつなぐ

2 台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。



- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。また、IXY DIGITAL WIRELESS とは Wi-Fi 接続できません。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- [Wi-Fi] をタッチします (p143)。

2 カメラを選ぶ

- [カメラ] をタッチします。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。
- 相手のカメラも手順 1 ～ 3 を行います。
- ▶ 両方のカメラで「接続先のカメラでも通信を開始してください」画面が表示されると登録が始まります。
- ▶ 相手のカメラが登録されると、画像を送信する画面が表示されます。「画像を送る」(p162) に進んでください。



- 複数のカメラを登録するには、手順 1 から繰り返します。
- カメラを登録すると、そのカメラのニックネームが手順 3 の画面に表示されるようになります。2 回目以降はカメラのニックネームを選んで接続してください。
- タッチアクション設定 (p123) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

パソコンとつなぐ

パソコンと接続するために必要な設定とカメラへの登録方法、および付属のソフトウェアの「CameraWindow」を使って Wi-Fi で画像をパソコンに取り込む方法について説明します。



- 接続先がパソコンの場合は、接続までの操作はカメラを使い、接続後に画像を取り込む操作にはパソコン（付属のソフトウェアの「CameraWindow」）を使います。

パソコンを登録するための準備をする

パソコンを登録するための準備を行います。

パソコンの環境を確認する

カメラと Wi-Fi 接続できるパソコンの環境は「パソコンに必要なシステム構成」（[図 32](#)）でご確認ください。

また、付属のソフトウェアの「CameraWindow」をパソコンにインストールしておく必要があります（[図 33](#)）。



- Windows 7 Starter / Home Basic には対応していません。
- Windows 7 N（欧州版）/KN（韓国版）では、Windows Media Feature Pack を別途マイクロソフトのサポートページからダウンロードしてインストールする必要があります。

詳しくは、次の Web ページを参照してください。

<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=159730>

Wi-Fi の環境を確認する

Wi-Fi を使うためには、アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機（Wi-Fi ルーターなど）とパソコンが接続されている環境が必要です。Wi-Fi 親機は、「主な仕様」（[図 215](#)）に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。

すでに Wi-Fi を使っているときは、次の項目を確認し、確認シートに記入してください。設定の確認方法については、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティー上大変重要なものです。お取り扱いには十分ご注意ください。

確認シート

ネットワーク名 (SSID / ESSID) お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。	
ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード) Wi-Fi 通信時のデータを暗号化する方式です。	○なし ○ WEP (オープンシステム認証) ○ WPA-PSK (TKIP) ○ WPA-PSK (AES) ○ WPA2-PSK (TKIP) ○ WPA2-PSK (AES)
暗号化キー (ネットワークキー) Wi-Fi 通信時のデータを暗号化するために使われるキー (鍵) です。	
キーのインデックス (送信キー) 「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。	○ 1



- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク (LAN) を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、**[Wi-Fi]** タブの **[Wi-Fi 設定]** で **[MAC アドレスの確認]** を選べば確認できます。

■ パソコンに Wi-Fi 接続するための設定を行う（Windows のみ）

お使いのパソコンが Windows のときは、カメラと Wi-Fi で接続するために、次の手順で Windows の設定をおこなってください。



1 パソコンが Wi-Fi に接続していることを確認する

- 確認方法はパソコンの使用説明書を参照してください。



2 設定する

- [スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [Wi-Fi 接続のための設定] の順にクリックします。
- 起動したアプリケーションの画面にしたがって、設定してください。



- 手順2のアプリケーションを実行すると、Windows に次の設定が行われます。
 - メディアストリーミングを有効にする
Wi-Fi で接続するパソコンをカメラが参照（検索）できるようになります。
 - ネットワーク探索を有効にする
パソコンがカメラを参照（検索）できるようになります。
 - ICMP（Internet Control Message Protocol）を有効にする
ネットワーク接続の通信状態を確認できるようになります。
 - UPnP（Universal Plug & Play）を有効にする
ネットワーク機器を自動認識できるようになります。
- パソコンにインストールされているセキュリティーソフトによっては、上記の操作をおこなっても設定できないことがあります。セキュリティーソフトの設定をご確認ください。

パソコンを登録する

Wi-Fi で接続するパソコンをカメラに登録します。

ここでは、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応したアクセスポイントを使って、プッシュボタン方式で接続する手順について説明します。お使いのアクセスポイントが WPS に対応していないときは、「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」(157) の手順で接続してください。



- WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定を簡単に行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。
- お使いのアクセスポイントが WPS に対応しているかどうかは、アクセスポイントの使用説明書でご確認ください。
- お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせてお読みください。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- [Wi-Fi] をタッチします (143)。

2 パソコンを選ぶ

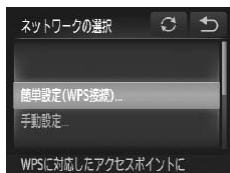
- [パソコン] をタッチします。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

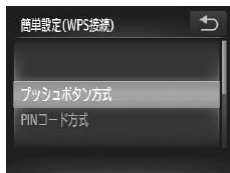
- [接続先の機器の登録] をタッチします。
- ▶ 検索されたアクセスポイントの一覧が [ネットワークの選択] 画面に表示されます。





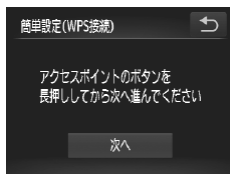
4 [簡単設定 (WPS 接続)] を選ぶ

- [簡単設定 (WPS 接続)] をタッチします。



5 [プッシュボタン方式] を選ぶ

- [プッシュボタン方式] をタッチします。



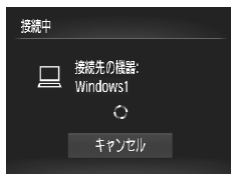
6 接続をはじめる

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにします。
- [次へ] をタッチします。
- ▶ カメラがアクセスポイントに接続します。
- ▶ そのアクセスポイントに接続しているパソコンの一覧が「接続先の機器の選択」画面に表示されます。



7 接続するパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンの名前をタッチします。
- Macintoshの場合は、「CameraWindowを使って画像をパソコンに取り込む」(p.159)に進んでください。



ハードウェアとサウンド
デバイスとプリンターの表示
デバイスの追加



8 ドライバーをインストールする (Windows で初回接続時のみ)

- カメラに左の画面が表示されたら、パソコンのスタートメニューから[コントロールパネル] をクリックし、[デバイスの追加] をクリックします。

- 接続したカメラのアイコンをダブルクリックします。
- ▶ ドライバーのインストールがはじまります。
- ▶ ドライバーのインストールが終わってカメラとパソコンの接続が完了すると、「自動再生」画面が表示されます。このとき、カメラの液晶画面には何も表示されなくなります。
- 「CameraWindow を使って画像をパソコンに取り込む」(P159)に進んでください。



- 接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、手順3の操作でそのアクセスポイントにカメラが自動で接続します。アクセスポイントを変更したいときは、接続の最中に表示される画面の[ネットワーク変更]を選び、「パソコンを登録する」の手順4～5(P155)の操作で設定してください。



- 手順 5 で [PIN コード方式] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に「接続先の機器の選択」画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- 複数のパソコンを登録するには、手順 1 から繰り返します。
- 登録を終了するには、手順 7 でパソコンと接続したあとに表示される、画像を送信する画面で右上の【➡】をタッチし、表示される確認画面で [OK] をタッチします。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- タッチアクション設定 (📖 123) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続していきます。

一覧に表示されたアクセスポイントに接続する

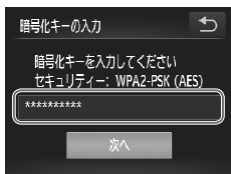
1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「パソコンを登録する」の手順 1 ～ 3 の操作 (📖 154) で、アクセスポイントの一覧を表示します。

2 アクセスポイントを選ぶ

- 接続したいネットワーク（アクセスポイント）をタッチします。





3 アクセスポイントの暗号化キーを入力する

- 左の図の枠内をタッチしてキーボードを表示し、暗号化キーを入力します (📖 143)。
- [次へ] をタッチします。



4 [自動] を選ぶ

- [自動] をタッチします。
- ▶ そのアクセスポイントに接続している他の機器の一覧が「接続先の機器の選択」画面に表示されます。

5 接続するパソコンを選ぶ

- 「パソコンを登録する」の手順 7～8 (📖 155～156) の操作でパソコンを選んで登録します。



- アクセスポイントの暗号化キーについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書をご確認ください。
- アクセスポイントは最大 16 個まで表示されます。アクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で [手動設定] を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティ設定、暗号化キーの入力を行ってください。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って他の機器に接続するときは、手順 3 で暗号化キーが「*」で表示されます。同じ暗号化キーを使うときは、そのまま [次へ] をタッチします。
- 複数のパソコンを登録するには、手順 1 から繰り返します。

CameraWindow を使って画像をパソコンに取り込む

カメラ内の画像をパソコンに取り込むにはパソコン（付属のソフトウェアの「CameraWindow」）を使います。



- CameraWindow の操作方法については、「ソフトウェアの使用説明書」(P31) を参照してください。



1 CameraWindow を表示する

- Windows では、[画像をキヤノンカメラからダウンロードします] をクリックします。
- ▶ CameraWindow が表示されます。
- ▶ Macintosh では、カメラとパソコンが Wi-Fi で通信できる状態になると、CameraWindow が自動的に表示されます。

2 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- ▶ 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みの完了画面で、[OK] をクリックします。



- Macintosh で CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- 動画はファイルサイズが大きいため、取り込みに時間がかかることがあります。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- すべての画像や選んだ画像だけをパソコンに取り込んだり、保存先フォルダを変えることもできます。詳しくは、「ソフトウェアの使用説明書」(P31) を参照してください。

プリンターとつなぐ

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。

プリンターと Wi-Fi で接続するには、このカメラをアクセスポイントにする（カメラアクセスポイントモード）か、すでにお使いのアクセスポイントを使って接続します。

ここでは、カメラをアクセスポイントにして接続する手順について説明します。すでにお使いのアクセスポイントを使って接続するときは、「パソコンを登録する」の「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」(157) を参照してください。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- [Wi-Fi] をタッチします (143)。



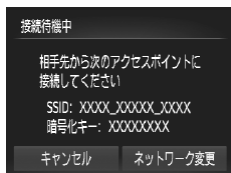
2 プリンターを選ぶ

- [プリンター] をタッチします。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。



4 プリンターを操作して、カメラの画面に表示されたネットワークに接続する

- お使いのプリンターの Wi-Fi（無線 LAN）に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID（ネットワーク名）を選びます。



5 プリンターを選ぶ

- プリンターが接続できるようになるとカメラに名前が表示されるので、名前をタッチします。
- ▶ プリンターが登録されて、印刷画面が表示されます。



6 画像を選んで印刷する

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[FUNC.] をタッチしたあと、[凸] を選び、タッチします。
- ▶ 印刷がはじまります。
- 詳しい印刷方法については、「印刷する」(189) を参照してください。



- 接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、手順3の「接続先の機器の選択」画面に表示されるアクセスポイントを選んで接続することができます。
- タッチアクション設定(123)で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

画像を送る

カメラに登録した接続先へカメラから Wi-Fi で画像を送信する方法について説明します。



- CANON iMAGE GATEWAY を経由して、SNS やメールなどに画像を送信することができます。詳しくは、「CANON iMAGE GATEWAY」でご確認ください。
- 1 回の送信操作で画像を 50 個までまとめて送信できます。動画は、再生時間の合計が 2 分以内であれば、まとめて送信できます。ただし、接続先が Web サービスのときは、お使いの Web サービスによっては送信できる数が少なくなることがあります。詳しくは、お使いの Web サービスでご確認ください。
- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- 接続先がパソコンの場合は、画像を送信する操作はカメラではなくパソコン（付属のソフトウェアの「CameraWindow」）を使います（P159）。

画像を 1 つずつ送信する



1 画像を選ぶ

- 画像を左右方向にドラッグして、送信したい画像を選びます。

2 送信する

- [この画像を送信] をタッチします。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み [同意する] をタッチします。

- ▶ 画像の送信が開始されます。
- ▶ 画像を Web サービスに送信したときは、送信が完了したら表示される画面で [OK] をタッチすると、再生モードの画面に戻ります。
- ▶ 画像をカメラまたはスマートフォンに送信したときは、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。



- Wi-Fi 通信部 (📶 4) を手や物で覆わないでください。画像の送受信が遅くなることがあります。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
 [📶] 強、[📶] 中、[📶] 弱、[📶] 微弱
 ただし、カメラをアクセスポイントにして接続しているときは、表示されません。
- カメラとの接続を切断するには、画面右上の [🔌] をタッチし、表示される切断の確認画面で [OK] をタッチします。また、スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。

■ 記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、[📷] をタッチして表示された画面で、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選ぶことができます。

- [しない] を選ぶと、リサイズされず元の画像の大きさのままで送信されます。
- [M2] か [S] を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。



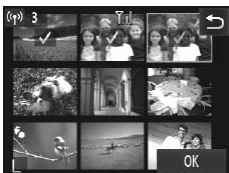
- 動画はリサイズできません。

複数の画像を送信する



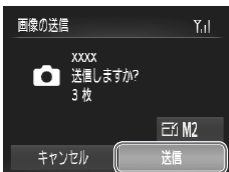
1 「選んで送信」を選ぶ

- 「選んで送信」をタッチします。



2 画像を選ぶ

- 送信したい画像をタッチすると、[✓]が表示されます。
- もう一度画像をタッチすると[✓]が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[OK]をタッチします。



3 送信する

- 「送信」をタッチします。



- 手順2で1枚表示 (P110) にし、画面を左右方向にドラッグして画像を選ぶこともできます。
- 手順3で送信する画像の記録画素数 (画像の大きさ) を選ぶことができます (P163)。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメント（英数字、記号のみ）を入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。



1 コメントを選ぶ

- [] をタッチします。



2 コメントを入力する

- 「はじめて Wi-Fi 接続するとき」の手順 3 (143) の操作でコメントを入力します。

3 送信する

- 「画像を 1 つずつ送信する」 (162) の操作で画像を送信します。



- コメントを入力しなかったときは、CANON iMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。

CANON iIMAGE GATEWAY 経由で画像をパソコンに送る

カード内の未転送の画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンに送信することができます。

なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 送信する画像の種類を選択する (動画も一緒に送信するときのみ)

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[↑↑] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (📖 45)。
- [サーバー経由転送] を選んでから、[静止画+動画] を選びます。
- 静止画のみを送信するときは、手順 2 から操作してください。



2 画像を送信する

- 「Web サービスに接続する」 (📖 148) の操作で [📶] を選びます。
 - ▶ 接続が完了すると画像が送信されます (約 1 分後に画面は消えます)。
- 送信が完了すると [OK] が表示され、タッチすると再生モードの画面に戻ります。
- ▶ CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーに画像が転送されると画面に [↑↑] が表示されます。



3 パソコンを起動する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。



- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット (別売) (📖 184) を使うことをおすすめします。



- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iIMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。

カメラ内の画像に GPS 情報を記録する

スマートフォンの専用アプリケーション「CameraWindow」(📖138)で記録しておいた GPS 情報(緯度、経度、標高など)を、カメラ内の画像に記録することができます。



- 撮影前に「日付／時刻を設定する」(📖22)で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。また、旅行先など、自宅エリアと時差のある場所で撮影するときは、[エリア設定](📖175)で訪問先のエリアを設定してください。
- スマートフォンを操作してカメラ内の画像に GPS 情報を記録するため、操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります(📖142)。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する

登録してある接続先の情報を編集します。カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）の変更や、接続情報の消去などが行えます。ここでは、接続先がパソコンのときの手順について説明します。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- [📶] をタッチすると最近使用した機器が表示されるので、[◀] か [▶] をタッチして Wi-Fi メニューを表示します。



2 編集する機器を選ぶ

- 編集したい機器のアイコンをタッチします。



3 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [接続先の機器の編集] をタッチします。



4 編集する接続先を選ぶ

- 編集したい接続先をタッチします。

5 編集する項目を選ぶ

- 編集したい項目をタッチします。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

編集できる項目	接続先				
					Web サービス
「ニックネームの変更」(📖 169)	○	○	○	○	—
「画像の公開設定」(📖 142)	—	○	—	—	—
「接続情報を消去」(📖 170)	○	○	○	○	—

○：設定可 —：設定不可

■ 接続先のニックネームを変更する

カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」の手順5 (📖 169) の操作で「ニックネームの変更」を選び、タッチします。
- 入力欄をタッチして、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします (📖 143)。

■ 接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。

- 「接続情報を編集する」の手順 5 (p.169) で「接続情報を消去」を選び、タッチします。
- 「[(接続情報) 消去しますか?」が表示されたら、[OK] をタッチします。
- ▶ 接続情報が消去され、手順 1 の画面に戻ります。



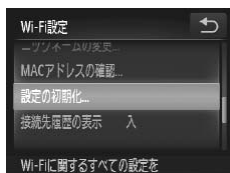
Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。



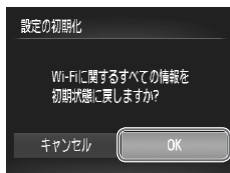
1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[**Wi-Fi 設定**] を選びます (145)。



2 [設定の初期化] を選ぶ

- [設定の初期化] をタッチします。



3 初期化する

- [OK] をタッチします。
- ▶ Wi-Fi の設定が初期化されます。



- <□> ボタンに登録した設定 (138) も初期化されます。
- Wi-Fi の設定を初期化すると、パソコンを使って設定した Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。また、「CANON iIMAGE GATEWAY 経由で画像をパソコンに送る」(166) の設定を解除するときは、カメラとパソコンを接続して、CameraWindow で連携情報を削除してください。
- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときは、[**Wi-Fi 設定**] タブの [カメラ設定初期化] を選びます。

8

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

メニューの【🔊】タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます（📖45）。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



- 【消音】を選び、【する】を選びます。



- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき（📖104）の音声も鳴らなくなります。動画再生中に画面を上方向にドラッグすると音声は鳴り、上下方向にドラッグすると音量を調整できます。

音量を変える

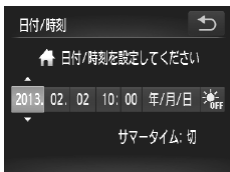
カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- 【音量】を選び、タッチします。
- 画面を上下方向にドラッグして項目を選び、バーの上で設定したい位置をタッチして音量を変えます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。

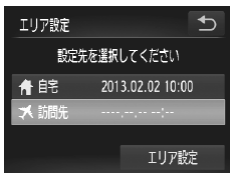


- [日付 / 時刻] を選びタッチします。
- 設定する項目をタッチしたあと、[▲] か [▼] をタッチして設定します。

世界時計を使う

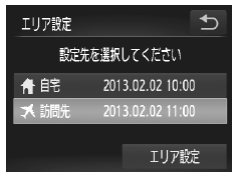
海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」(P22)で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、タッチします。
- [✕訪問先] をタッチしたあと、[エリア設定] をタッチします。
- [◀] か [▶] をタッチして訪問先エリアを選びます。
- [☀_{off}] をタッチして [☀] にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。
- [↶] をタッチします。



2 訪問先のエリアに切り換える

- [訪問先] をタッチしたあと、[戻る] をタッチします。
- ▶ 撮影画面(206)に[訪問先]が表示されます。



- [訪問先] の状態で日付／時刻を変える (22) と、[自宅] の日時も自動的に変わります。

レンズ収納時間を変える

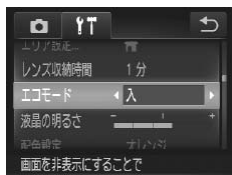
撮影状態から <▶> ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます (40)。<▶> ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0 秒] に設定します。



- [レンズ収納時間] を選び、[0 秒] を選びます。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

- [エコモード] を選び、[入] を選びます。
- ▶ 撮影画面 (206) に [ECO] が表示されます。
- ▶ カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターリングを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- [液晶の明るさ] を選び、バーの上で設定したい位置をタッチして明るさを変えます。

画面の配色を変える



- [配色設定] を選んだあと、内容を選びます。

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。

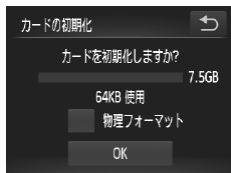
初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

1 [カードの初期化] 画面を表示する

- [カードの初期化] を選びタッチします。

2 [OK] を選ぶ

- [OK] をタッチします。



カードの初期化

カードに保存されている
すべてのデータが消去されます

OK

キャンセル

3 初期化する

- [OK] をタッチすると初期化が始まります。
- 初期化が終わると「カードの初期化が完了しました」が表示されるので、[OK] をタッチします。



- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

■ カードを物理フォーマット（初期化）する

「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。

カードの初期化



カードを初期化しますか？

7.5GB

64KB 使用



物理フォーマット

OK

- 「物理フォーマット」の左側の枠をタッチして、[✓] を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順 2 ～ 3 (178 ～ 179) の操作で、初期化（物理フォーマット）します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(178) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に「中止」をタッチすると、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

距離表示の単位を変える

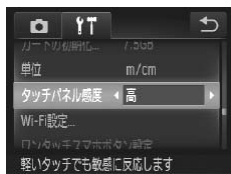
GPS 情報（標高）（ 107）などの表示単位を、m/cm から ft/in（フィート/インチ）に変えることができます。



- [単位] を選び、[ft/in] を選びます。

タッチパネルの感度を上げる

タッチパネルの感度を上げて、軽いタッチにも敏感に反応するようにできます。



- [タッチパネル感度] を選び、[高] を選びます。

Wi-Fi の設定を変える

[Wi-Fi 設定] [ワンタッチスマホボタン設定] では、次の操作ができます。

- ニックネームを変える（ 169）
- カメラの MAC アドレスを確認する（ 152）
- Wi-Fi の設定を初期化する（ 171）
- 接続先の履歴を表示しないようにする（ 144）
- < > ボタンに登録したスマートフォンを解除する（ 171）

認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [認証マーク表示] を選び、タッチします。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



- [言語 (言語)] を選びタッチします。
- 表示したい言語をタッチして選び、もう一度選んだ言語をタッチします。



- 再生モードにして [FUNC.] をタッチしたあと、[MENU] をタッチしたままにすることでも言語画面を表示できます。

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



- [カメラ設定初期化] を選び、タッチします。
- [OK] をタッチします。
- ▶ カメラが初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - 個人認証機能で登録した内容 (📖68)
 - [👤] タブの [日付 / 時刻] (📖175)、[エリア設定] (📖175)、[言語🗣️] (📖181)
 - 撮影モード (📖85)
 - Wi-Fi 機能で登録した内容 (📖131)

9

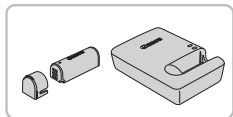
アクセサリ

別売アクセサリや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源

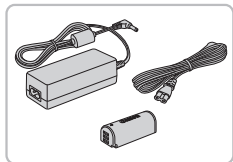


バッテリーパック NB-9L

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LB

- バッテリーパック NB-9L 用のバッテリーチャージャーです。



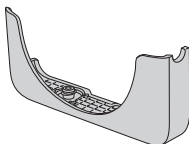
AC アダプターキット ACK-DC70

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。



- バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

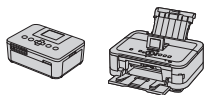
その他



カメラジャケット CJ-DC1

- カメラジャケットを取り付けることができます。

プリンター

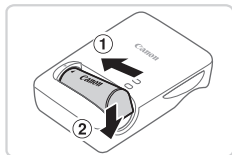


キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- キヤノン製の PictBridge 対応プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログでご確認いただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

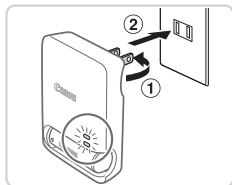
別売アクセサリーの使いかた

バッテリーチャージャーでバッテリーを充電する



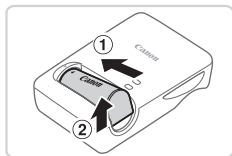
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを①の方向へおこして、②コンセントに差し込みます。
- ▶ 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- ▶ 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。



- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(P215) を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

静止画

動画

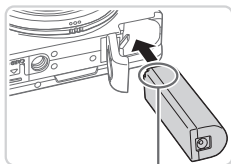
家庭用電源でカメラを使う

AC アダプターキット ACK-DC70 (別売) を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

1 カメラの電源を切る

2 カプラーを入れる

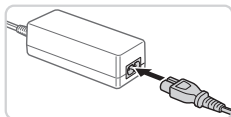
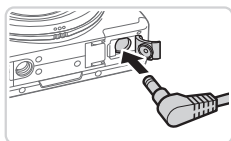
- 「バッテリーを入れて充電する」の手順 1 (18) の操作でふたを開きます。
- カプラーを図の向きにして、「バッテリーを入れて充電する」の手順 2 (18) のバッテリーを入れる方法と同じ操作でカプラーを入れます。
- 「バッテリーを入れて充電する」の手順 3 (18) の操作でふたを閉めます。



端子部

3 プラグをカプラーにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカプラーの端子にしっかりと差し込みます。



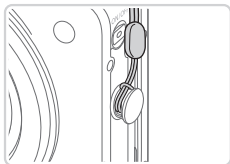
4 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。



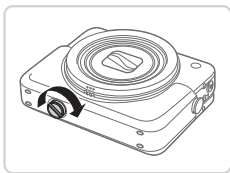
- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

カメラジャケットを取り付ける



1 準備する

- バッテリーとカードが入っていることを確認します。
- カメラの電源を切ります。
- ストラップを取り付けます (17)。



2 取り付ける

- カメラの下部にジャケットを取り付け、コインなどでネジを矢印の方向に回して三脚ねじ穴に固定します。



- 左手側にストラップを取り付けているときは、ジャケットの取り付け時にストラップをはさみこまないようにしてください。

印刷する

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

静止画

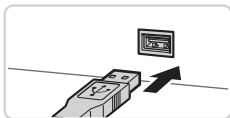
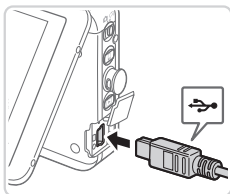
静止画を印刷する

撮影した画像は、カメラと PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）を付属のインターフェースケーブル（ 2）でつないで、かんたんに印刷できます。

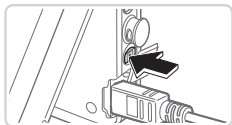
1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつながりかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる



4 カメラの電源を入れる

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。

5 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。

6 印刷する

- [FUNC.] をタッチしたあと、[凸] を選び、タッチします。
- ▶ 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順 5 から繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- このカメラでは用紙サイズやレイアウトを設定できないため、プリンターで設定してください。
- 設定できないプリンター、または設定できない項目は、プリンターの標準設定で印刷されます。プリンターの標準設定については、お使いのプリンターの使用説明書をご確認ください。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、「プリンター」（p.185）を参照してください。

動画を印刷する

動画の一時停止中に、表示されているシーンを静止画として印刷できます。

1 印刷画面を表示する

- 「静止画を印刷する」の手順 1 ～ 5 (189 ～ 190) の操作で動画を選びます。

2 印刷するシーンを選ぶ

- 画面をタッチして動画を再生し、印刷したいシーンでもう一度画面をタッチします。
- ▶ 動画が一時停止し、動画操作パネルが表示されます。

3 印刷する

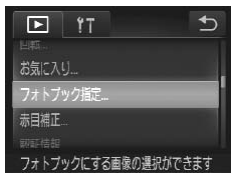
- [] をタッチします。
- ▶ 印刷がはじまります。



フォトブック指定

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定（最大 998 画像）し、付属のソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされて、インターネットでのフォトブック注文や、お使いのプリンターでの印刷をするときに便利です。

指定方法を選ぶ



- [FUNC.]、[MENU] の順にタッチして、 タブの「フォトブック指定」を選んで、指定方法を選びます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、 が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



- パソコンに取り込んだあとは「ソフトウェアの使用説明書」(131) やお使いのプリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

1 枚ずつ指定する



1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(192) の操作で「画像指定」を選び、タッチします。

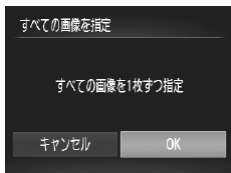


2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、画面をタッチします。
- ▶ [✓] が表示されます。
- もう一度画面をタッチすると解除され、[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [OK] をタッチすると設定され、メニュー画面に戻ります。

静止画

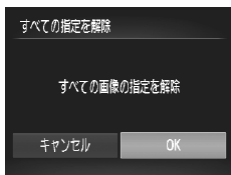
すべての画像を指定する



- 「指定方法を選ぶ」(192) の操作で「すべての画像を指定」を選び、タッチします。
- [OK] をタッチします。

静止画

すべての指定を解除する



- 「指定方法を選ぶ」(192) の操作で「すべての指定を解除」を選び、タッチします。
- [OK] をタッチします。

10

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (📖 18、186)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (📖 18)。
- カード収納部ふたとバッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (📖 18、21)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たままで収納されない

- 電源を入れたまま、カード収納部ふたやバッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください (📖 18、21)。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

撮影

撮影できない

- 再生モードのとき (📖 24) は、<📷> ボタンを押して撮影モードにしてください。

暗い場所での画面表示がおかしい (📖 43)

撮影中の画面表示がおかしい

次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。

- カメラに強い光があたると、表示が黒くなることがあります。
- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらつくことがあります。
- 明るい光源を撮影すると、画面に赤紫色の帯が表示されることがあります。

画像に日付が写し込まれない

- このカメラでは画像に日付を写し込むことはできませんが、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。
 - 付属のソフトウェアを使って印刷する
「ソフトウェアの使用説明書」(M31)を参照してください。
 - プリンターの機能を使って印刷する

シャッターリングを半押ししたときに、[Q]が表示される (M67)

- [手ブレ補正] を [入] にしてください (M102)。
- ストロボモードを [4] にしてください (M101)。
- ISO 感度を高くしてください (M98)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (M102)。

画像がボケて撮影される

- シャッターリングを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (M41)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください (M217)。
- [AF 補助光] を [入] にしてください (M81)。

画像がブレて撮影される

- タッチシャッター機能を使って撮影するときは、撮影シーンによっては、画像がブレやすくなることがあります。カメラをしっかりと持って撮影してください。

シャッターリングを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターリングを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボモードを [4] にしてください (M101)。
- 露出補正で明るさを補正してください (M97)。
- スポット測光で撮影してください (M97)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボモードを [4] にしてください (M67)。
- 露出補正で明るさを補正してください (M97)。
- スポット測光で撮影してください (M97)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (M56)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (M217)。
- ISO 感度を高くしてください (M98)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください（[117](#)）。
- ストロボモードを  にしてください（[167](#)）。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください（[98](#)）。

目が赤く写る

- 赤目補正で補正してください（[125](#)）。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください（[179](#)）。

撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「撮影タブメニュー一覧」、「FUNC. メニュー一覧」（[210](#)～[211](#)）で確認してください。

赤ちゃんやこどものシーンアイコンが表示されない

- 赤ちゃんやこどものアイコンは、個人認証機能（[68](#)）で誕生日を登録しないと表示されません。誕生日を入力しても表示されないときは、顔情報を登録しなおす（[68](#)）か、日付 / 時刻を正しく設定してください（[175](#)）。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています（[178](#)、[216](#)）。

画面に が表示され、撮影が自動的に終わった

カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。

- カードをこのカメラで物理フォーマットする（[179](#)）。
- 画質を変える（[79](#)）。
- 書き込み速度の速いカードを使う（[216](#)）。

ズームできない

-  モード（[88](#)）、 モード（[93](#)）では、動画撮影中にズームできません。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。ファイル名やフォルダ構造については、「ソフトウェアの使用説明書」(131) を参照してください。

再生が中断する、または音声途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (179)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- [消音] を [する] に設定 (174) しているときや、音声小さいときは、音量を調整してください (105)。
- [鳥] モード (88)、[魚] モード (93) では音声録音されていないため、音は出ません。

カード

カードが認識されない

- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください (21)。

Wi-Fi

【📶】が表示されず、Wi-Fi メニューを表示できない

- 撮影モードからは Wi-Fi メニューを利用できません。再生モードに切り換えてください。
- 画面をタッチして簡易情報表示に切り換えてください (📖 106)。
- 拡大表示や一覧表示 (インデックス表示) のときは 【📶】が表示されません。1 枚表示に切り換えてください。
- 検索条件を指定して画像を表示しているときも 【📶】は表示されません。検索した画像の再生状態を解除してください。
- カメラをプリンターやパソコンとケーブルでつないでいるときは 【📶】が表示されません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください (📖 168)。
- メール以外の Web サービスには、複数のアカウントを設定できません。CameraWindow を使って Web サービスのアカウントを変更してください (📖 145)。
- スマートフォンを接続先として登録するには、スマートフォンに専用アプリケーション「CameraWindow」をインストールしてから行ってください。
- パソコンを接続先として登録するには、付属のソフトウェア「CameraWindow」をパソコンにインストールしてから行ってください。また、パソコンや Wi-Fi の環境や設定を確認してください (📖 151、153)。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側 (書き込み禁止) になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

画像をリサイズして送信できない

- 元の画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／Wi-Fi 接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時に **[M2]** または **[S]** を選択してリサイズすると、送信時間を短くできます (📖 163)。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、**[Y]** が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 画像をパソコンに送信するときは、メモリーカードに大量の画像 (約 1000 枚) が保存されていると、接続が切断されることがあります。必要な画像をパソコンに取り込んでから、メモリーカード内の画像を削除して減らしてください。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください (📖 171)。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます (P21)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (P21)。

カードが異常です (P179)

- 使えるカード (P2) を初期化して正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください (P21)。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (P47、51、85、95) や編集 (P125) はできません。画像を消して (P116、117) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (P21)。

タッチ AF できません

- タッチ AF ができない撮影モードです (P210)。

タッチ AF 解除されました

- タッチ AF で選んだ被写体が認識できなくなりました (P66)。

バッテリーを充電してください (P18、186)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています

- 誤って消されないようにパソコンやほかのカメラで保護された画像は、このカメラで消せないことがあります。

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます／再生できません (MOV)／再生できません (MP4)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／処理できません／指定できない画像です／認証情報がありません

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。拡大 (P114) *、お気に入り設定 (P121)、回転 (P119)、編集 (P125) *、フォトブック指定 (P192) *、認証情報の編集 (P113) *

指定枚数の上限を超えています

- フォトブック指定 (📖 192) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- フォトブック指定 (📖 192) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 消去 (📖 116)、お気に入り (📖 121)、フォトブック指定 (📖 192) で、501 枚以上の画像を指定しようとしてしました。

通信エラー

- カードに大量の画像 (1000 枚程度) があるため、パソコンに画像を取り込んだり印刷したりできません。パソコンへ取り込むときは、カードリーダー (市販品) を使います。印刷するときは、プリンターのカードスロットにカードを差して印刷します。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。カードを初期化してください (📖 178)。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号 (Exx) を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷 (📖 189) できないことがあります。

印刷エラー

- プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口にインク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください (📖154)。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

Wi-Fi の暗号化キーが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティ設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティ設定を確認してください (📖151)。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 受信するカメラのカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています

- CANON iIMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- サーバー経由転送（ 166）で送信した画像をパソコンに保存してください。

SSL 証明書が無効です

パソコンと接続し付属のソフトウェアで設定し直してください

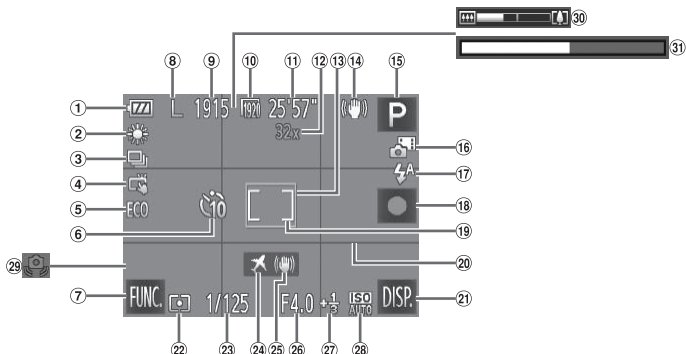
- カメラに設定されている日付／時刻の設定が正しいか確認してください。正しいことを確認したら、画面の指示にしたがって設定をやり直してください。

ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

画面の表示内容一覧

撮影時（情報表示あり）



- | | | |
|------------------------------|--|----------------------------|
| ① バッテリー残量表示
(207) | ⑫ ズーム倍率
(62) | ⑳ DISP. (ディスプレイ)
(43) |
| ② ホワイトバランス
(99) | ⑬ AF フレーム
(26) | ㉑ 測光方式
(97) |
| ③ ドライブモード
(100) | ⑭ 手ブレ補正アイコン
(60) | ㉒ シャッタースピード
(175) |
| ④ タッチシャッター
(65) | ⑮ 撮影モード
(210)、
シーンアイコン
(58) | ㉓ エリア設定
(102) |
| ⑤ エコモード
(177) | ⑯ プラスムービー
オートモード
(55) | ㉔ 絞り数値
(97) |
| ⑥ セルフタイマー
(63) | ⑰ ストロボモード
(67、101) | ㉕ 露出補正量
(98) |
| ⑦ FUNC. (ファンク
ション) (44) | ⑱ 動画撮影
(54、93) | ㉖ ISO 感度 (98) |
| ⑧ 静止画の記録画素数
(78) | ㉗ スポット測光枠
(97) | ㉘ 手ブレ警告
(56) |
| ⑨ 撮影可能枚数*
(216) | ㉙ グリッドライン
(80) | ㉚ ズームバー
(53) |
| ⑩ 動画の記録画素数
(79) | | ㉛ ハイスピード動画撮
影時間 (93) |
| ⑪ 撮影可能時間
(216) | | |

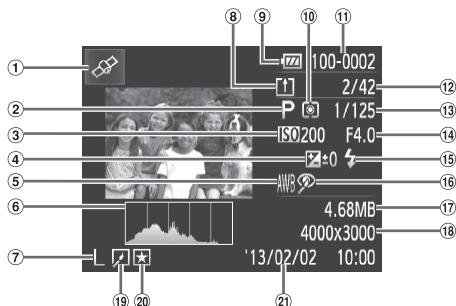
* [1/] モードでは、撮影できる回数が表示されます。

■ バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
 (赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。
	充電中です (📖 18)。
	充電が完了しました (📖 18)。

再生時（詳細情報表示）



- | | | |
|--|---|-----------------------|
| ① GPS 情報表示
(107) | ⑨ バッテリー残量表示
(207) | ⑮ 静止画：記録画素数
(216) |
| ② 撮影モード
(210) | ⑩ 測光方式
(97) | ⑯ 動画：再生時間
(215) |
| ③ ISO 感度
(98)、再生速度
(93)、倍速 (89) | ⑪ フォルダ番号－画像
番号 | ⑰ 画像編集
(125) |
| ④ 露出補正量
(97) | ⑫ 再生画像番号／総画
像数 | ⑱ お気に入り
(121) |
| ⑤ ホワイトバランス
(99) | ⑬ シャッタースピー
ド (静止画)、画質 /
フレーム数 (動画)
(79) | ⑳ 撮影日時
(22) |
| ⑥ ヒストグラム
(107) | ⑭ 絞り数値 | |
| ⑦ 記録画素数
(78)、
MOV (動画) | ⑮ ストロボ発光
(101) | |
| ⑧ サーバー経由転送済
み (166) | ⑯ 赤目補正
(125) | |
| | ⑰ ファイルサイズ | |

「見る」(📖 104) で表示される動画操作パネル一覧

	タッチすると音量パネルが表示され、[▲] か [▼] をタッチすると音量を変えられます。音量が 0 のときは [🔇] が表示されます。
	再生
	前スキップ*または前のチャプター (📖 129)
	フレーム戻し (タッチしたままにするとスロー戻し)
	フレーム送り (タッチしたままにするとスロー送り)
	次スキップ*または次のチャプター (📖 129)
	チャプター消去 (ダイジェスト動画を選んでいるとき (📖 129) に表示)
	編集 (📖 127)

* 約 4 秒前または後のフレームを表示



- スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。

機能／メニュー一覧

撮影機能一覧

機能	撮影モード											
			AUTO	P								
デジタルズーム (📖62)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
タッチ AF (📖66)	*1	—	○	*1	—	—	—	—	*1	—	—	—
タッチシャッター (📖65)	○	*2	○	○	*3	—	*2	*2	○	*2	—	—
画面表示の切り換え (📖43)												
情報表示あり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報表示なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

* 1 シャッターリング半押し時、枠は緑で表示され、明るさとピントが固定

* 2 タッチ時に枠は緑で表示され、明るさとピントが固定

* 3 撮影のみ可。被写体の指定は不可

📷 撮影タブメニュー一覧

機能	撮影モード											
			AUTO	P								
タッチシャッター (📖65)												
入	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AF 補助光 (📖81)												
入 / 切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影直後のレビュー表示 (📖82)												
表示時間	切 / クイック	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	2 秒 / 4 秒 / 8 秒 / ホールド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
表示情報	非表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	詳細表示	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
グリッドライン (📖80)												
入 / 切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手ブレ補正 (📖102)												
切 / 入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影時	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—
個人認証設定 (📖68)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

FUNC. メニュー一覧

撮影モード

機能

測光方式 (📖97)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
ホワイトバランス (📖99)	AWB	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
ISO 感度 (📖98)	ISO AUTO	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ISO 80 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600 ISO 3200 ISO 6400	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
ストロボ (📖67、101)		-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		-	-	-	○	○	○	○	○	○	-
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
露出補正 (📖97)	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-
セルフタイマー (📖63)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドライブモード (📖100)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	○	○	○	○	○	○	-
静止画アスペクト比 (📖77)	16:9 3:2 4:3 1:1	-	-	○	○	-	* 1	-	-	○	-
記録画素数 (📖78)	L	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	M1 M2 S	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○
動画の画質 (📖79)	F1920	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
	F1280 640	○	○	○	○	○	* 2	○	○	○	-
	F240 120	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○

O 選択可能または自動設定 - 選択不可

* 1 [4:3] [16:9] のみ選択可

* 2 縦横比の設定に連動して自動設定 (P89)

付 設定タブメニュー一覧

項目	参照ページ	項目	参照ページ
消音	174	カードの初期化	178、179
音量	174	単位	180
日付/時刻	22	タッチパネル感度	180
エリア設定	175	Wi-Fi 設定	131
レンズ収納時間	176	ワンタッチスマホボタン設定	138
エコモード	177	認証マーク表示	181
液晶の明るさ	177	言語	24
配色設定	178	カメラ設定初期化	182

再生タブメニュー一覧

項目	参照ページ	項目	参照ページ
消去	116	認証情報	109
回転	119	グループ表示	49
お気に入り	121	縦横自動回転	120
フォトブック指定	192	タッチアクション設定	123
赤目補正	125		

再生モードの FUNC. メニュー一覧

項目	参照ページ	項目	参照ページ
回転	 119	ダイジェスト動画のリンク再生* ²	 108
お気に入り	 121	ダイジェスト動画の一覧 / 再生	 108
消去	 116	画像の検索	 111
印刷* ¹	 189	スライドショー	 115

* 1 PictBridge 対応プリンターとつないだとき (189) に表示されます。

* 2 [A] モードで撮影した静止画を選んでいるときに表示されます。

目ごとの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーを長期間保管するときは、バッテリーを使い切ってカメラから取り出し、ビニール袋などに入れて保管してください。バッテリーを使い切らずに長期間（1年くらい）保管すると、バッテリー寿命を縮めたり、性能が劣化することがあります。

主な仕様

カメラ部有効画素数 (最大)	約 1210 万画素
レンズ焦点距離	8 倍ズーム：5.0 (W) - 40.0 (T) mm (35mm フィルム換算：28 (W) - 224 (T) mm)
液晶モニター	2.8 型 TFT カラー液晶 (タッチパネル) 有効画素数：約 46.1 万ドット
ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応 (Version 1.1)
データタイプ	静止画：Exif 2.3 (JPEG) 動画：MOV (画像：H.264、音声：リニア PCM (モノラル))
インターフェース	Hi-Speed USB
Wi-Fi 規格	IEEE802.11b/g/n* * 2.4 GHz 帯のみ
Wi-Fi 伝送方式	OFDM 変調方式 (IEEE802.11g/n) DSSS 変調方式 (IEEE802.11b)
Wi-Fi 通信モード	インフラストラクチャーモード*、アドホックモード * Wi-Fi Protected Setup に対応
Wi-Fi 対応チャンネル	1-13 ch
Wi-Fi セキュリティ	WEP、WPA-PSK (AES/TKIP)、 WPA2-PSK (AES/TKIP)
電源	バッテリーパック NB-9L AC アダプターキット ACK-DC70
大きさ (CIPA 準拠)	78.6 × 60.2 × 29.3 mm
質量 (CIPA 準拠)	約 195 g (電池・メモリーカード含む) 約 174 g (本体のみ)

撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮影枚数	約 200 枚
エコモード時	約 280 枚
動画撮影時間* 1	約 35 分
連続時* 2	約 1 時間 10 分
再生時間	約 4 時間

* 1 カメラの初期状態で、撮影 / 一時停止、電源の入 / 切、ズームなどの操作をしたときの時間です。

* 2 「一度に撮影できる時間まで撮影」、「自動停止」を繰り返したときの時間です。

・撮影枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) の試験基準によります。

・撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。

・フル充電状態での枚数・時間です。

1枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）

記録画素数 (ピクセル)	1枚のカードに撮影できる枚数（約・枚）	
	4 GB	16 GB
L （ラージ） 12M/4000x3000	1077	4338
M1 （ミドル 1） 6M/2816x2112	1829	7362
M2 （ミドル 2） 2M/1600x1200	6354	25574
S （スモール） 0.3M/640x480	20124	80988

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 表内の数値は画像の縦横比が 4:3 のときの値です。縦横比を変えると（[図 77](#)）、4:3 のときよりも 1 画像の容量が小さくなるため、撮影できる枚数は多くなります。ただし、**[M2]** では 16:9 にすると 1 画像の記録画素数が 1920 x 1080 になるため、4:3 より容量が大きくなります。

1枚のカードに撮影できる時間

画質	1枚のカードに撮影できる時間	
	4 GB	16 GB
[1920]	14 分 32 秒	58 分 38 秒
[1280]	20 分 41 秒	1 時間 23 分 26 秒
[640]	43 分 37 秒	2 時間 55 分 56 秒

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が 4 GB になるか、撮影時間が **[1920]** **[1280]** では約 10 分、**[640]** では約 1 時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SD スピードクラス 6 以上のカードを使用することをおすすめします。

■ ストロボ調光範囲

もっとも広角側 (■*) にしたとき	50 - 90 cm
--------------------	------------

- ・シーンがマクロと判別されたとき：10 - 50 cm
- ・撮影距離によっては、画像周辺の明るさが低下することがあります。
- ・望遠側 (□*) では調光しないことがあります。

*「オートモードで撮る (こだわりオート)」の手順 3 (P53) 参照

■ 撮影距離

もっとも広角側 (■*) にしたとき	1 cm - ∞
もっとも望遠側 (□*) にしたとき	1 m - ∞

*「オートモードで撮る (こだわりオート)」の手順 3 (P53) 参照

■ 連続撮影の速さ

約 2.3 枚 / 秒

■ シャッタースピード

[AUTO] モードで自動設定される範囲	1 - 1/2000 秒
----------------------	--------------

■ 絞り

F 値	F3.0 / F9.0 (W)、F5.9 / F18 (T)
-----	--------------------------------

■ バッテリーパック NB-9L

形式： リチウムイオン充電電池
 公称電圧： DC 3.5 V
 公称容量： 870 mAh
 充放電回数： 約 300 回
 使用温度： 0 - 40℃
 大きさ： 14.6 x 43.1 x 15.3 mm
 質量： 約 21 g

■ コンパクトパワーアダプター CA-DC30

定格入力： AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)、
 7 VA (100 V) - 10 VA (240 V)、
 0.07 A (100 V) - 0.045 A (240 V)
 定格出力： DC 5.0 V、0.55 A
 充電時間： 約 3 時間 (NB-9L を本体で充電した時)
 使用温度： 5 - 40℃

■ バッテリーチャージャー CB-2LB (別売)

定格入力： AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)、
8.5 VA (100 V) - 12 VA (240 V)、
0.085 A (100 V) - 0.05 A (240 V)
定格出力： DC 4.2 V、0.7 A
充電時間： 約 1 時間 50 分 (NB-9L 充電時)
充電表示： 充電中：オレンジ色点灯、充電完了：緑色点灯 (2 灯式)
使用温度： 0 - 40℃

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様および、外観の一部を予告なく変更することがあります。



- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ： <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ 妨害電波自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド (本書) にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

【英数字】

AC アダプターキット.....	184, 187
CameraWindow	
表示.....	159
CANON iMAGE GATEWAY	
設定.....	145
DC カプラー.....	187
DIGITAL CAMERA Solution Disk ... 2	
FUNC. メニュー	
一覧.....	211, 213
基本操作.....	44
GPS.....	107
ISO 感度.....	98
MAC アドレス.....	152
microSD/microSDHC/	
microSDXC カード → カード	
PictBridge	
(ピクトブリッジ).....	185, 189
P (撮影モード).....	96
Web サービス	
接続.....	148
接続先に登録.....	145
表示される順番.....	147
Wi-Fi.....	132
Wi-Fi 設定の初期化.....	171
アクセスポイント.....	151
設定.....	151
Windows	
CameraWindow の表示.....	159
設定.....	153
WPS	
PIN コード方式.....	157
プッシュボタン方式.....	155

【あ】

赤目補正.....	125
アクセサリ.....	184
アクセスポイント	
手動設定.....	158

表示件数.....	158
色あい (ホワイトバランス).....	99
印刷.....	189
インターフェースケーブル.....	2, 34
エラー表示.....	202
オートモード (撮影モード).....	25, 52
お気に入り設定.....	121
音.....	174

【か】

カード.....	2, 144
撮影できる時間.....	216
海外で使う.....	175
回転.....	119
拡大表示.....	114
画像	
消す.....	116, 117
再生 → 見る	
表示時間.....	82
画像の送信.....	162
1 つずつ送信.....	162
複数の画像を送信.....	164
まとめて送信できる数.....	162
リサイズ.....	163, 164
画像のパソコンへの取り込み.....	159
家庭用電源.....	187
カメラ	
接続先に登録.....	150
設定初期化.....	182
ニックネーム.....	143
画面	
表示一覧.....	206, 208
表示言語.....	24
メニュー → FUNC. メニュー、メ ニュー	
魚眼風 (撮影モード).....	87
記録画素数 (画像の大きさ).....	78
グリッドライン.....	80
消す.....	116, 117

検索.....	111
故障.....	196
個人認証.....	68
コンパクトパワーアダプター	2, 18

【さ】

再生 → 見る	
撮影	
撮影情報	206
撮影日時 → 日付／時刻	
ジオラマ風（撮影モード）	88
消去 → 消す	
初期状態 → 設定初期化	
ズーム	26, 53, 62
ストラップ	2, 17
ストロボ	
常時発光	101
発光禁止	67
スマートフォン	
接続先に登録	138
世界時計	175
接続	
Web サービス	148
接続先に登録	
Web サービス	145
カメラ	150
スマートフォン	138
パソコン	154
プリンター	160
接続情報	
ニックネームの変更	169
編集	168
設定初期化	182
節電	40
セルフタイマー	63
2 秒セルフタイマー	64
測光方式	97

ソフトウェア	
DIGITAL CAMERA Solution	
Disk	2
インストール	33
パソコンへの取り込み	33
ソフトフォーカス（撮影モード）	91

【た】

タッチ	16
タッチ AF	66
タッチアクション設定	123
タッチシャッター	65
タッチパネル	16
縦横比を変える	77
端子	18, 34, 187, 189
デジタルズーム	62
手ブレ	102
電源 → AC アダプターキット	
→ コンパクトパワーアダプター	
→ バッテリー	
電池 → 日付／時刻（日付／時刻用電池）	
節電	40
トイカメラ風（撮影モード）	90
動画	
画質	
（記録画素数 / フレーム数）	79
撮影時間	216
編集	127
ドライブモード	100
ドラッグ	16

【な】

日時 → 日付／時刻	
ニックネーム	
カメラ	143
接続先	169

【は】

ハイスピード動画（動画モード）	93
-----------------------	----

パソコン	
環境	151
準備	151
接続先に登録	154
バッテリー	
残量表示	207
充電	18, 186
節電	40
バッテリーチャージャー (充電器)	184
ピクトブリッジ (PictBridge)	185, 189
日付／時刻	
世界時計	175
設定	22
日付／時刻用電池	23
変更	23
表示言語	24
ピント合わせ	
タッチ AF	66
フォトブック指定	192
付属品	2
プラスムービーオートモード (撮影モード)	55
プリント → 印刷	
プログラム AE	96
編集	
赤目補正	125
ホワイトバランス (色あい)	99

【ま】

見る	28
1 枚表示	28
インデックス表示	110
拡大表示	114
画像の検索	111
メニュー	
一覧	210
基本操作	45
メモリーカード → カード	
モノクロ (撮影モード)	92

【5】

ランプ	43, 81
リストストラップ → ストラップ	
連続撮影 (連写)	100
露出	
補正	97

■ アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後 5 年間です。

なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

■ 商標、ライセンスについて

- DCF は、(社) 電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- microSDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

■ このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター

050-555-90005

受付時間：平日 9:00～20:00

土・日・祝日 10:00～17:00

(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
- ※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報

<http://canon.jp/cdc>

キヤノンサポートページ

<http://canon.jp/support>

CANON IMAGE GATEWAY

<http://www.imagegateway.net>

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい

国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。

<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。